



Press Release

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

「令和2年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆4,987億円（伸び率▲2.6%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円（伸び率+7.2%）であった。

その内訳は、技術料が1兆8,779億円（伸び率▲5.0%）、薬剤料が5兆6,058億円（▲1.8%）、特定保険医療材料料が150億円（伸び率+7.2%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,337億円（伸び率+3.4%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和2年度末の数量ベース（新指標）で82.1%（伸び幅+1.7%）、数量ベース（旧指標）で59.1%（伸び幅+3.7%）、薬剤料ベースで21.4%（伸び幅+2.7%）であり、後発医薬品調剤率が77.6%（伸び幅+1.9%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は+7.4%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%であった。【表5】

- 令和2年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆1,842億円(▲0.5%)、診療所が4兆2,896億円(▲4.2%)であり、令和2年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が82.6%(伸び幅+1.6%)、診療所が81.9%(伸び幅+1.8%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.5%(伸び幅+0.7%)、最も低かったのが国保組合で80.4%(伸び幅+1.7%)であった。【表14、表15】
- 令和2年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は85.4%、次いで大きい消化器官用薬は90.1%であった。【表16】

「令和2年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和2年度の調剤報酬明細書情報 合計約6.3億件分

報道関係者 各位

令和3年8月31日

【照会先】

保険局 調査課

課長 西岡 隆 (内線3291)

医療費解析官 八郷 秀之 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

「令和2年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和2年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和2年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆4,987億円（伸び率▲2.6%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円（伸び率+7.2%）であった。

その内訳は、技術料が1兆8,779億円（伸び率▲5.0%）、薬剤料が5兆6,058億円（▲1.8%）、特定保険医療材料料が150億円（伸び率+7.2%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,337億円（伸び率+3.4%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和2年度末の数量ベース（新指標）で82.1%（伸び幅+1.7%）、数量ベース（旧指標）で59.1%（伸び幅+3.7%）、薬剤料ベースで21.4%（伸び幅+2.7%）であり、後発医薬品調剤率が77.6%（伸び幅+1.9%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は+7.4%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%であった。【表5】

- 令和2年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆1,842億円(▲0.5%)、診療所が4兆2,896億円(▲4.2%)であり、令和2年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が82.6%(伸び幅+1.6%)、診療所が81.9%(伸び幅+1.8%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.5%(伸び幅+0.7%)、最も低かったのが国保組合で80.4%(伸び幅+1.7%)であった。【表14、表15】
- 令和2年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は85.4%、次いで大きい消化器官用薬は90.1%であった。【表16】

「令和2年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和2年度の調剤報酬明細書情報 合計約6.3億件分

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～令和2年度版～

1. 調剤医療費等の全数と電算処理分の比較

令和2年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆4,987億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同じ)▲2.6%)で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円(+7.2%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1 調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

		実数						対前年度比(%)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全数	調剤医療費(億円)	78,746	74,953	77,129	74,746	77,464	75,392	▲ 4.8	2.9	▲ 3.1	3.6	▲ 2.7
	処方箋枚数(万枚)	82,372	82,999	83,886	84,361	84,284	76,484	0.8	1.1	0.6	▲ 0.1	▲ 9.3
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,560	9,031	9,195	8,860	9,191	9,857	▲ 5.5	1.8	▲ 3.6	3.7	7.3
電算処理分	調剤医療費(億円)	78,192	74,395	76,664	74,279	77,025	74,987	▲ 4.9	3.1	▲ 3.1	3.7	▲ 2.6
	電算化率(%)	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	99.5	—	—	—	—	—
	処方箋枚数(万枚)	81,912	82,527	83,445	83,930	83,869	76,135	0.8	1.1	0.6	▲ 0.1	▲ 9.2
	電算化率(%)	99.4	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	▲ 5.6	1.9	▲ 3.7	3.8	7.2
	電算処理分/全数	0.999	0.998	0.999	0.999	0.999	0.999	—	—	—	—	—

注1) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注3) 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費(患者負担分を含む。)のうち、審査支払機関による審査分(再審査分等調整前)を集計対象としたものである。

注4) 「電算処理分」とは、「全数」のうち、レセプト電算処理システムにより処理された明細書(いわゆる「電子レセプト」)を集計対象としたものである。次表以降、特に注意書きがない場合、「電算処理分」の集計値である。

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆8,779億円(伸び率▲5.0%)、薬剤料が5兆6,058億円(▲1.8%)で、特定保険医療材料料が150億円(+7.2%)であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,849円(伸び率+7.2%)で、その内訳は、技術料が2,467円(+4.6%)、薬剤料が7,363円(+8.1%)で、特定保険医療材料料が20円(+18.1%)であった。

構成割合は技術料が25.0%、薬剤料が74.8%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)						対前年度比(%)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調剤医療費	78,192	74,395	76,664	74,279	77,025	74,987	▲4.9	3.1	▲3.1	3.7	▲2.6
技術料	18,283	18,490	19,122	19,311	19,771	18,779	1.1	3.4	1.0	2.4	▲5.0
調剤技術料	15,122	14,834	15,423	15,294	15,773	15,046	▲1.9	4.0	▲0.8	3.1	▲4.6
調剤基本料	5,336	5,055	5,478	5,336	5,666	5,536	▲5.3	8.4	▲2.6	6.2	▲2.3
調剤料	8,425	8,415	8,554	8,548	8,649	8,101	▲0.1	1.7	▲0.1	1.2	▲6.3
加算料	1,361	1,364	1,391	1,411	1,458	1,409	0.2	2.0	1.4	3.3	▲3.3
薬学管理料	3,161	3,656	3,699	4,016	3,998	3,733	15.7	1.2	8.6	▲0.5	▲6.6
薬剤料	59,783	55,778	57,413	54,834	57,114	56,058	▲6.7	2.9	▲4.5	4.2	▲1.8
内服薬	49,762	45,838	46,712	44,346	46,021	44,878	▲7.9	1.9	▲5.1	3.8	▲2.5
屯服薬他	396	378	381	344	344	326	▲4.4	0.9	▲9.9	0.2	▲5.4
注射薬	2,461	2,563	2,884	3,052	3,551	3,964	4.1	12.5	5.8	16.3	11.6
外用薬	7,164	6,998	7,436	7,092	7,198	6,891	▲2.3	6.3	▲4.6	1.5	▲4.3
(再掲)後発医薬品	8,502	8,636	10,092	10,245	10,959	11,337	1.6	16.9	1.5	7.0	3.4
特定保険医療材料料	126	128	130	134	140	150	0.9	1.6	3.8	4.4	7.2

注1)「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2)「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3)「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4)調剤医療費及び処方箋枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
調剤医療費	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	▲5.6	1.9	▲3.7	3.8	7.2
技術料	2,232	2,240	2,292	2,301	2,357	2,467	0.4	2.3	0.4	2.5	4.6
構成割合(%)	23.4	24.9	24.9	26.0	25.7	25.0	—	—	—	—	—
調剤技術料	1,846	1,797	1,848	1,822	1,881	1,976	▲2.6	2.8	▲1.4	3.2	5.1
調剤基本料	651	612	656	636	676	727	▲6.0	7.2	▲3.2	6.3	7.6
調剤料	1,029	1,020	1,025	1,018	1,031	1,064	▲0.9	0.5	▲0.7	1.3	3.2
加算料	166	165	167	168	174	185	▲0.5	0.8	0.9	3.4	6.5
薬学管理料	386	443	443	479	477	490	14.8	0.1	8.0	▲0.4	2.8
薬剤料	7,299	6,759	6,880	6,533	6,810	7,363	▲7.4	1.8	▲5.0	4.2	8.1
構成割合(%)	76.5	75.0	74.9	73.8	74.1	74.8	—	—	—	—	—
内服薬	6,075	5,554	5,598	5,284	5,487	5,894	▲8.6	0.8	▲5.6	3.9	7.4
屯服薬他	48	46	46	41	41	43	▲5.1	▲0.3	▲10.4	0.3	4.2
注射薬	300	311	346	364	423	521	3.4	11.3	5.2	16.4	23.0
外用薬	875	848	891	845	858	905	▲3.0	5.1	▲5.2	1.6	5.5
(再掲)後発医薬品	1,038	1,046	1,209	1,221	1,307	1,489	0.8	15.6	0.9	7.0	14.0
特定保険医療材料料	15	15	16	16	17	20	0.1	0.5	3.2	4.4	18.1
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では11,448円と、0歳以上5歳未満の3,623円の約3.2倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
総数	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	9,849	▲ 5.6	1.9	▲ 3.7	3.8	7.2
0歳以上5歳未満	3,328	3,250	3,275	3,197	3,281	3,623	▲ 2.3	0.7	▲ 2.4	2.6	10.5
5歳以上10歳未満	4,761	4,605	4,725	4,571	4,752	5,547	▲ 3.3	2.6	▲ 3.3	4.0	16.7
10歳以上15歳未満	5,869	5,742	6,024	6,040	6,393	7,484	▲ 2.2	4.9	0.3	5.8	17.1
15歳以上20歳未満	6,058	5,937	6,261	6,326	6,665	7,505	▲ 2.0	5.5	1.0	5.4	12.6
20歳以上25歳未満	6,063	5,980	6,230	6,176	6,534	7,336	▲ 1.4	4.2	▲ 0.9	5.8	12.3
25歳以上30歳未満	6,439	6,290	6,544	6,435	6,710	7,496	▲ 2.3	4.0	▲ 1.7	4.3	11.7
30歳以上35歳未満	6,897	6,734	6,930	6,749	7,054	7,878	▲ 2.4	2.9	▲ 2.6	4.5	11.7
35歳以上40歳未満	7,617	7,410	7,585	7,360	7,681	8,535	▲ 2.7	2.4	▲ 3.0	4.4	11.1
40歳以上45歳未満	8,592	8,347	8,467	8,222	8,511	9,288	▲ 2.9	1.4	▲ 2.9	3.5	9.1
45歳以上50歳未満	9,354	9,059	9,185	8,881	9,211	9,888	▲ 3.2	1.4	▲ 3.3	3.7	7.3
50歳以上55歳未満	9,888	9,390	9,487	9,162	9,476	10,109	▲ 5.0	1.0	▲ 3.4	3.4	6.7
55歳以上60歳未満	10,434	9,816	9,860	9,479	9,763	10,308	▲ 5.9	0.4	▲ 3.9	3.0	5.6
60歳以上65歳未満	10,775	10,063	10,131	9,706	10,022	10,505	▲ 6.6	0.7	▲ 4.2	3.3	4.8
65歳以上70歳未満	11,124	10,370	10,446	9,988	10,311	10,733	▲ 6.8	0.7	▲ 4.4	3.2	4.1
70歳以上75歳未満	11,409	10,614	10,763	10,289	10,623	11,024	▲ 7.0	1.4	▲ 4.4	3.2	3.8
75歳以上80歳未満	11,855	10,978	11,126	10,638	10,955	11,312	▲ 7.4	1.3	▲ 4.4	3.0	3.3
80歳以上85歳未満	11,996	11,209	11,447	10,919	11,211	11,448	▲ 6.6	2.1	▲ 4.6	2.7	2.1
85歳以上90歳未満	11,806	11,104	11,409	10,890	11,179	11,262	▲ 6.0	2.8	▲ 4.6	2.7	0.7
90歳以上95歳未満	10,877	10,294	10,633	10,191	10,483	10,459	▲ 5.4	3.3	▲ 4.2	2.9	▲ 0.2
95歳以上100歳未満	9,217	8,778	9,071	8,738	9,060	9,051	▲ 4.8	3.3	▲ 3.7	3.7	▲ 0.1
100歳以上	7,347	7,016	7,225	7,014	7,295	7,332	▲ 4.5	3.0	▲ 2.9	4.0	0.5

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和2年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で82.1%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ) +1.7%)、数量ベース(旧指標)で59.1%(+3.7%)、薬剤料ベースで21.4%(+2.7)であり、後発医薬品調剤率は77.6%(+1.9%)であった。

年度毎の平均で見ると、令和2年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では81.4%(+2.3%)、旧指標では57.6%(+2.6%)、薬剤料ベースでは20.2%(+1.0%)であり、後発医薬品調剤率は76.7%(+1.5%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が75%以上の薬局数は令和元年度3月で77.2%であったところ、令和2年度3月では81.7%(+4.5%)となっており、うち85%以上の薬局数は令和元年度3月で43.3%であったところ、令和2年度3月では52.0%(+8.7%)となっていた。

表4-1 令和2年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	77.7	80.4	80.7	80.7	80.8	80.4	80.9	81.3	81.3	81.7	81.9	82.0	82.1	82.1
数量ベース(旧指標)	53.9	55.4	55.5	55.5	55.8	56.9	57.4	57.8	58.2	58.3	58.5	58.9	59.2	59.1
薬剤料ベース	19.6	18.6	18.4	18.4	18.7	19.7	20.2	20.4	20.8	20.8	21.0	21.2	21.5	21.4
後発医薬品調剤率	73.6	75.7	76.2	75.1	74.8	75.8	75.9	76.4	77.1	77.5	77.6	77.9	77.8	77.6

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
数量ベース(新指標)	56.4	60.1	66.8	70.2	75.9	79.1	81.4	3.7	6.8	3.4	5.6	3.2	2.3	
数量ベース(旧指標)	37.0	40.2	44.5	47.7	52.6	55.0	57.6	3.2	4.3	3.2	4.8	2.4	2.6	
薬剤料ベース	13.4	14.2	15.5	17.6	18.7	19.2	20.2	0.8	1.3	2.1	1.1	0.5	1.0	
後発医薬品調剤率	60.8	63.1	67.0	69.4	73.0	75.2	76.7	2.3	3.9	2.4	3.6	2.2	1.5	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(平成25年4月公表)を参照)。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなる可能性がある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

注6) 「-」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	10%以上 20%未満	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	20%以上 30%未満	0.7	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	30%以上 40%未満	1.5	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
	40%以上 50%未満	3.3	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9	1.8	1.7	1.7
	50%以上 60%未満	2.6	1.9	1.8	1.9	1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6
	55%以上 60%未満	3.7	2.7	2.7	2.7	2.5	2.8	2.6	2.6	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2
	60%以上 65%未満	4.5	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1
	65%以上 70%未満	5.5	4.8	4.6	4.6	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9
	70%以上 75%未満	7.1	5.8	5.9	5.8	5.8	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0	4.8	4.8	4.7
	75%以上 80%未満	14.9	10.3	10.4	10.6	10.0	11.0	10.1	9.9	9.7	9.2	8.7	8.8	8.6
	80%以上 85%未満	24.3	23.6	23.6	23.4	23.3	24.2	23.1	22.5	22.4	21.6	21.3	21.3	20.7
	85%以上 90%未満	22.0	27.9	28.4	28.5	29.4	30.1	30.8	31.1	31.3	31.8	32.5	33.0	32.8
	90%以上 95%未満	8.2	13.3	13.3	13.2	13.4	11.2	12.9	13.7	14.1	15.3	15.7	15.7	16.6
	95%以上	1.3	2.1	2.3	2.2	2.3	1.6	2.0	2.3	2.3	2.6	2.7	2.5	2.8
割合	40%未満	2.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	
	75%以上	70.8	77.2	77.8	77.9	78.4	78.2	78.9	79.6	79.8	80.5	81.0	81.3	
	75%以上 80%未満	14.9	10.3	10.4	10.6	10.0	11.0	10.1	9.9	9.7	9.2	8.7	8.8	
	80%以上 85%未満	24.3	23.6	23.6	23.4	23.3	24.2	23.1	22.5	22.4	21.6	21.3	21.3	
	85%以上	31.5	43.3	43.9	43.9	45.1	42.9	45.7	47.2	47.7	49.7	50.9	51.2	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,886円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.76、28.2日、76円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率+7.4%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲1.0%、+12.7%、▲3.7%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円)	6,068	5,548	5,590	5,273	5,478	5,886	▲ 8.6	0.8	▲ 5.7	3.9	7.4
処方箋1枚当たり薬剤種類数	2.86	2.83	2.81	2.80	2.79	2.76	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0
1種類当たり投薬日数(日)	22.8	23.1	23.6	24.1	25.0	28.2	1.5	2.1	2.3	3.6	12.7
1種類1日当たり薬剤料(円)	93	85	84	78	79	76	▲ 9.1	▲ 0.4	▲ 7.4	0.5	▲ 3.7

注1) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注2) 「処方箋1枚当たり薬剤種類数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごとに、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤を同一種類として数えた延種類数(薬剤延種類数)の合計値(内服薬のみ)を、処方箋受付回数(内服薬が含まれない処方箋受付回も含む。)で除して算出している。

注3) 「1種類当たり投薬日数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)を、薬剤延種類数の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

注4) 「1種類1日当たり薬剤料」については、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料の合計値(内服薬のみ)を、「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が7,787億円と最も高く、次いでその他の代謝性医薬品が7,711億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+9.8%と最も高く、呼吸器官用薬が▲31.9%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,971億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が1,478億円となっている。伸び率は、ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)が+45.0%と最も高く、抗生物質製剤が▲41.1%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)						対前年度比(%)			
				後発医薬品(億円)(再掲)					後発医薬品(再掲)	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
内服薬 総数	44,259	45,942	44,811	9,056	9,580	9,804	3.8	▲2.5	5.8	2.3
11 中枢神経系用薬	7,895	7,999	7,501	1,015	1,218	1,478	1.3	▲6.2	20.0	21.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	488	474	460	154	158	158	▲2.9	▲2.8	2.4	▲0.4
114 解熱鎮痛消炎剤	1,013	945	723	147	205	275	▲6.7	▲23.4	38.7	34.4
116 抗パーキンソン剤	646	675	673	57	66	68	4.5	▲0.2	14.2	3.5
117 精神神経用剤	2,516	2,500	2,480	314	426	427	▲0.6	▲0.8	35.3	0.4
119 その他中枢神経系用薬	2,446	2,545	2,261	263	269	452	4.0	▲11.2	2.1	68.3
21 循環器官用薬	8,238	8,267	7,787	2,881	2,965	2,971	0.4	▲5.8	2.9	0.2
212 不整脈用剤	325	315	290	134	146	151	▲3.0	▲7.9	8.9	3.4
214 血圧降下剤	3,149	3,019	2,866	1,153	1,179	1,112	▲4.1	▲5.1	2.2	▲5.7
217 血管拡張剤	894	860	786	582	590	563	▲3.8	▲8.6	1.3	▲4.6
218 高脂血症用剤	2,213	2,263	2,050	807	818	881	2.3	▲9.4	1.3	7.8
22 呼吸器官用薬	405	396	270	204	216	162	▲2.3	▲31.9	5.5	▲24.8
23 消化器官用薬	3,865	4,116	4,237	1,274	1,286	1,259	6.5	2.9	0.9	▲2.0
232 消化性潰瘍用剤	2,499	2,592	2,604	810	799	749	3.7	0.5	▲1.4	▲6.2
239 その他の消化器官用薬	586	624	635	124	132	142	6.5	1.8	6.2	7.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	691	822	804	111	140	203	18.9	▲2.2	26.8	45.0
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,306	1,257	1,190	123	202	236	▲3.8	▲5.3	64.6	17.0
31 ビタミン剤	965	1,015	849	250	247	339	5.2	▲16.4	▲1.5	37.4
32 滋養強壮薬	503	526	552	42	44	43	4.6	5.0	5.9	▲2.3
325 蛋白アミノ酸製剤	421	439	463	17	18	17	4.4	5.3	4.1	▲4.3
33 血液・体液用薬	3,348	3,533	3,353	746	749	691	5.5	▲5.1	0.3	▲7.7
39 その他の代謝性医薬品	6,870	7,438	7,711	770	811	834	8.3	3.7	5.3	2.9
396 糖尿病用剤	3,436	3,711	3,886	238	239	247	8.0	4.7	0.4	3.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,735	2,950	3,073	429	474	496	7.9	4.2	10.4	4.7
42 腫瘍用薬	3,567	4,261	4,677	332	378	363	19.5	9.8	13.8	▲4.0
422 代謝拮抗剤	289	245	201	70	97	99	▲15.3	▲17.9	39.7	1.4
429 その他の腫瘍用薬	3,239	3,981	4,444	250	264	246	22.9	11.6	5.3	▲6.9
44 アレルギー用薬	2,182	2,158	1,962	825	837	863	▲1.1	▲9.1	1.5	3.1
52 漢方製剤	1,183	1,247	1,286	-	-	-	5.4	3.1	-	-
61 抗生物質製剤	596	558	404	206	206	121	▲6.4	▲27.5	▲0.0	▲41.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	270	248	171	86	86	35	▲8.2	▲31.0	0.1	▲59.9
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	198	177	103	98	94	58	▲10.7	▲41.5	▲3.9	▲37.9
62 化学療法剤	2,312	1,895	1,580	210	211	164	▲18.0	▲16.6	0.4	▲22.0
624 合成抗菌剤	239	218	122	66	64	41	▲8.6	▲44.1	▲3.2	▲35.6
625 抗ウイルス剤	1,876	1,435	1,222	92	94	72	▲23.5	▲14.8	2.3	▲22.9

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,023円と最も高く、次いでその他の代謝性医薬品が1,013円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+20.9%と最も高く、呼吸器官用薬が▲24.9%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 総数	6,068	5,548	5,590	5,273	5,478	5,886	▲ 8.6	0.8	▲ 5.7	3.9	7.4
11 中枢神経系用薬	969	929	976	941	954	985	▲ 4.1	5.1	▲ 3.7	1.4	3.3
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	72	65	65	58	56	60	▲ 9.7	0.1	▲ 11.0	▲ 2.8	7.1
114 解熱鎮痛消炎剤	121	120	124	121	113	95	▲ 0.5	2.9	▲ 2.4	▲ 6.6	▲ 15.7
116 抗パーキンソン剤	84	84	85	77	80	88	0.1	1.5	▲ 9.4	4.5	9.9
117 精神神経用剤	318	305	321	300	298	326	▲ 4.2	5.3	▲ 6.6	▲ 0.6	9.3
119 その他中枢神経系用薬	296	277	293	291	303	297	▲ 6.3	5.9	▲ 0.6	4.1	▲ 2.1
21 循環器官用薬	1,344	1,204	1,169	982	986	1,023	▲ 10.4	▲ 2.9	▲ 16.1	0.4	3.8
212 不整脈用剤	62	54	52	39	38	38	▲ 13.9	▲ 3.8	▲ 25.0	▲ 2.9	1.5
214 血圧降下剤	605	528	484	375	360	377	▲ 12.8	▲ 8.3	▲ 22.4	▲ 4.0	4.6
217 血管拡張剤	159	131	128	107	103	103	▲ 17.3	▲ 2.0	▲ 17.0	▲ 3.7	0.6
218 高脂血症用剤	349	321	317	264	270	269	▲ 7.9	▲ 1.4	▲ 16.8	2.3	▲ 0.2
22 呼吸器官用薬	59	54	52	48	47	35	▲ 7.9	▲ 3.9	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 24.9
23 消化器官用薬	507	473	495	460	491	557	▲ 6.7	4.7	▲ 7.0	6.6	13.4
232 消化性潰瘍用剤	351	319	333	298	309	342	▲ 8.9	4.4	▲ 10.7	3.8	10.7
239 その他の消化器官用薬	72	66	69	70	74	83	▲ 7.8	5.2	0.6	6.6	12.2
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	75	77	80	82	98	106	2.5	4.0	3.3	19.0	7.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	166	159	164	156	150	156	▲ 3.7	2.8	▲ 5.0	▲ 3.7	4.3
31 ビタミン剤	114	112	116	115	121	112	▲ 1.4	3.7	▲ 1.2	5.2	▲ 7.9
32 滋養強壮薬	63	61	62	60	63	73	▲ 2.8	1.3	▲ 2.8	4.7	15.7
325 蛋白アミノ酸製剤	54	52	52	50	52	61	▲ 3.6	0.7	▲ 3.7	4.5	16.0
33 血液・体液用薬	433	393	414	399	421	440	▲ 9.3	5.4	▲ 3.7	5.6	4.5
39 その他の代謝性医薬品	777	767	816	818	887	1,013	▲ 1.3	6.4	0.3	8.3	14.2
396 糖尿病用剤	382	383	409	409	442	510	0.0	7.0	0.0	8.1	15.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	312	307	328	326	352	404	▲ 1.5	6.6	▲ 0.5	7.9	14.8
42 腫瘍用薬	344	352	386	425	508	614	2.2	9.6	10.1	19.5	20.9
422 代謝拮抗剤	52	47	42	34	29	26	▲ 8.6	▲ 11.7	▲ 17.8	▲ 15.2	▲ 9.6
429 その他の腫瘍用薬	285	297	337	386	475	584	4.4	13.3	14.6	23.0	23.0
44 アレルギー用薬	351	306	298	260	257	258	▲ 12.8	▲ 2.5	▲ 12.8	▲ 1.0	0.1
52 漢方製剤	135	135	140	141	149	169	▲ 0.1	3.9	0.5	5.5	13.6
61 抗生物質製剤	108	93	85	71	66	53	▲ 13.8	▲ 8.9	▲ 16.6	▲ 6.4	▲ 20.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	51	43	39	32	30	23	▲ 15.4	▲ 10.1	▲ 16.4	▲ 8.1	▲ 24.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	43	35	30	24	21	14	▲ 18.9	▲ 13.7	▲ 21.5	▲ 10.6	▲ 35.5
62 化学療法剤	580	391	295	275	226	208	▲ 32.5	▲ 24.5	▲ 6.7	▲ 18.0	▲ 8.1
624 合成抗菌剤	49	41	36	28	26	16	▲ 17.6	▲ 10.8	▲ 21.6	▲ 8.6	▲ 38.4
625 抗ウイルス剤	505	328	236	224	171	161	▲ 35.1	▲ 28.0	▲ 5.3	▲ 23.5	▲ 6.2

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.67と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.47となっている。伸び率は、腫瘍用薬が+12.5%で最も高く、呼吸器官用薬が▲44.5%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

	実数						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 総数	2.86	2.83	2.81	2.80	2.79	2.76	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0
11 中枢神経系用薬	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	0.47	▲ 0.7	0.1	▲ 0.8	0.1	4.9
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	0.12	▲ 2.4	▲ 1.8	▲ 3.7	▲ 3.0	7.6
114 解熱鎮痛消炎剤	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 1.0	0.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 3.8
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.0	▲ 1.1	6.8
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	▲ 1.7	▲ 0.1	▲ 0.3	0.9	10.1
119 その他中枢神経系用薬	0.04	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	8.7	8.1	7.8	7.5	14.3
21 循環器官用薬	0.61	0.60	0.60	0.60	0.61	0.67	▲ 0.3	▲ 0.4	0.4	1.6	9.8
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	2.6	2.5	3.4	4.4	12.6
214 血圧降下剤	0.21	0.21	0.20	0.20	0.20	0.22	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 0.8	0.4	8.3
217 血管拡張剤	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.16	▲ 0.6	▲ 0.6	0.0	1.2	9.2
218 高脂血症用剤	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.17	1.6	1.3	2.8	4.1	11.9
22 呼吸器官用薬	0.26	0.27	0.25	0.25	0.24	0.13	1.2	▲ 4.1	▲ 1.2	▲ 5.0	▲ 44.5
23 消化器官用薬	0.47	0.46	0.45	0.44	0.44	0.45	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 0.9	2.5
232 消化性潰瘍用剤	0.24	0.23	0.23	0.22	0.22	0.23	▲ 2.9	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 1.0	4.5
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 1.3	▲ 2.7	▲ 0.3	▲ 1.4	1.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.2	1.2	1.7	2.9	5.5
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.9	0.6	0.9	4.7	9.9
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	▲ 0.9	0.1	0.6	1.2	7.9
32 滋養強壮薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	2.3	1.9	2.4	2.3	11.1
325 蛋白アミノ酸製剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	2.9	2.3	2.5	4.9	16.5
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	1.2	0.1	▲ 0.4	0.2	▲ 4.5
39 その他の代謝性医薬品	0.23	0.22	0.22	0.22	0.23	0.25	▲ 4.8	0.9	1.0	1.9	9.6
396 糖尿病用剤	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	0.8	1.3	0.9	2.1	10.6
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.5	0.1	6.3
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.9	0.9	2.8	5.2	12.5
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 3.9	▲ 3.4	▲ 3.8	1.3	8.0
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	3.2	2.7	5.4	6.6	13.9
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	0.19	▲ 0.1	1.3	1.7	▲ 2.3	▲ 8.3
52 漢方製剤	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	3.0	3.1	1.7	2.2	1.3
61 抗生物質製剤	0.11	0.11	0.10	0.09	0.09	0.06	▲ 4.3	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 4.6	▲ 29.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	▲ 5.7	▲ 7.1	▲ 7.5	▲ 4.2	▲ 27.6
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	▲ 3.3	▲ 13.0	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 39.8
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	▲ 3.1	▲ 2.5	2.6	▲ 10.5	▲ 25.8
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	▲ 2.5	▲ 8.8	▲ 7.0	▲ 5.2	▲ 33.8
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	▲ 7.0	13.1	25.5	▲ 29.9	▲ 36.6

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の43.4日であり、最も短いのは抗生物質製剤の8.6日である。伸び率は、呼吸器官用薬が+39.6%で最も高く、滋養強壮薬が+2.2%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 総数	22.8	23.1	23.6	24.1	25.0	28.2	1.5	2.1	2.3	3.6	12.7
11 中枢神経系用薬	21.7	21.9	22.1	22.6	23.1	24.6	0.8	0.9	2.0	2.2	6.6
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23.4	23.6	23.9	24.1	24.5	24.9	1.1	0.9	1.1	1.3	2.0
114 解熱鎮痛消炎剤	15.6	15.9	16.2	16.7	17.2	19.7	1.4	2.1	2.9	3.4	14.2
116 抗パーキンソン剤	27.2	27.5	27.8	28.3	29.0	29.9	1.1	1.3	1.6	2.4	3.4
117 精神神経用剤	24.2	24.1	23.9	24.2	24.6	25.3	▲ 0.4	▲ 0.9	1.2	1.9	2.7
119 その他中枢神経系用薬	24.7	25.0	25.3	25.6	25.9	26.6	1.0	1.0	1.3	1.1	3.0
21 循環器官用薬	31.4	31.8	32.3	32.9	33.7	35.1	1.2	1.5	1.7	2.4	4.2
212 不整脈用剤	32.2	32.6	33.0	33.5	34.2	35.5	1.2	1.3	1.5	2.1	3.9
214 血圧降下剤	32.5	32.9	33.4	34.0	34.7	36.3	1.2	1.6	1.8	2.3	4.3
217 血管拡張剤	31.5	31.9	32.4	32.9	33.7	35.1	1.1	1.5	1.7	2.3	4.3
218 高脂血症用剤	33.4	33.8	34.3	34.9	35.8	37.4	1.2	1.7	1.7	2.4	4.5
22 呼吸器官用薬	8.3	8.3	8.5	8.7	9.1	12.7	▲ 0.1	1.8	2.5	4.5	39.6
23 消化器官用薬	22.9	23.2	23.7	24.1	24.9	27.2	1.3	2.2	1.8	3.2	9.1
232 消化性潰瘍用剤	24.6	25.0	25.4	25.9	26.7	28.4	1.7	1.7	2.0	2.8	6.6
239 その他の消化器官用薬	21.5	21.5	22.2	22.6	23.6	26.1	0.3	2.8	2.1	4.2	10.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	26.4	26.8	27.3	28.0	29.2	32.1	1.5	2.1	2.4	4.1	10.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	32.5	33.0	33.4	33.8	34.1	35.8	1.5	1.2	1.2	1.0	4.9
31 ビタミン剤	27.0	27.4	27.9	28.5	29.3	30.6	1.6	1.7	2.1	2.7	4.5
32 滋養強壮薬	25.9	26.1	26.4	26.7	27.0	27.6	0.6	1.0	1.1	1.4	2.2
325 蛋白アミノ酸製剤	20.7	20.4	20.3	20.4	20.5	20.7	▲ 1.2	▲ 0.3	0.2	0.6	0.9
33 血液・体液用薬	27.0	26.9	26.9	27.3	27.7	31.5	▲ 0.5	0.2	1.2	1.5	13.6
39 その他の代謝性医薬品	27.3	28.9	29.4	30.0	30.8	32.3	5.7	1.7	2.1	2.9	4.7
396 糖尿病用剤	32.8	33.3	33.7	34.3	35.1	36.6	1.4	1.2	1.7	2.4	4.2
399 他に分類されない代謝性医薬品	15.3	15.5	15.8	16.3	17.0	18.0	1.5	1.9	2.9	4.2	5.8
42 腫瘍用薬	39.5	40.6	41.3	41.4	42.0	43.4	2.7	1.8	0.3	1.2	3.4
422 代謝拮抗剤	20.1	20.2	20.3	20.4	20.4	21.0	0.7	0.2	0.6	0.2	2.8
429 その他の腫瘍用薬	47.8	48.7	49.1	48.5	48.8	50.1	1.7	0.9	▲ 1.2	0.6	2.7
44 アレルギー用薬	16.7	17.1	17.7	18.5	19.7	24.0	2.3	3.8	4.5	6.4	22.0
52 漢方製剤	20.8	20.8	21.0	21.4	22.0	24.9	0.3	0.9	1.6	3.2	13.2
61 抗生物質製剤	6.4	6.5	6.7	6.9	7.2	8.6	0.6	3.1	3.9	3.7	19.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0	5.1	0.1	1.2	1.6	1.6	1.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8.0	8.0	8.5	8.9	9.4	12.9	▲ 0.0	5.4	5.1	5.1	37.6
62 化学療法剤	10.2	10.3	10.6	10.3	11.7	15.4	1.2	2.7	▲ 2.9	13.6	32.2
624 合成抗菌剤	5.4	5.4	5.4	5.5	5.6	6.0	▲ 0.1	1.4	1.3	1.5	6.6
625 抗ウイルス剤	12.0	12.1	11.3	8.8	12.3	19.3	1.2	▲ 7.3	▲ 21.6	39.8	56.2

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,973円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の21円であった。

伸び率は、腫瘍用薬が+4.0%で最も高く、ビタミン剤が▲18.3%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 総数	93	85	84	78	79	76	▲ 9.1	▲ 0.4	▲ 7.4	0.5	▲ 3.7
11 中枢神経系用薬	97	93	97	93	92	85	▲ 4.3	4.1	▲ 4.7	▲ 0.9	▲ 7.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	25	23	23	21	21	20	▲ 8.5	1.0	▲ 8.7	▲ 1.2	▲ 2.5
114 解熱鎮痛消炎剤	73	73	73	70	64	49	▲ 0.8	0.7	▲ 4.2	▲ 9.0	▲ 23.2
116 抗パーキンソン剤	187	189	194	177	183	182	1.1	2.6	▲ 9.0	3.3	▲ 0.4
117 精神神経用剤	109	107	113	105	101	98	▲ 2.1	6.3	▲ 7.5	▲ 3.3	▲ 3.4
119 その他中枢神経系用薬	273	233	226	205	197	164	▲ 14.7	▲ 3.1	▲ 9.0	▲ 4.2	▲ 16.9
21 循環器官用薬	71	63	60	49	48	43	▲ 11.2	▲ 4.0	▲ 17.8	▲ 3.5	▲ 9.3
212 不整脈用剤	64	53	49	35	32	28	▲ 17.1	▲ 7.4	▲ 28.6	▲ 8.9	▲ 13.3
214 血圧降下剤	90	78	72	55	51	48	▲ 12.9	▲ 8.5	▲ 23.2	▲ 6.6	▲ 7.5
217 血管拡張剤	35	29	28	23	21	19	▲ 17.7	▲ 2.9	▲ 18.4	▲ 7.0	▲ 11.7
218 高脂血症用剤	76	68	65	52	50	42	▲ 10.4	▲ 4.3	▲ 20.4	▲ 4.0	▲ 14.7
22 呼吸器官用薬	27	25	24	22	22	21	▲ 8.8	▲ 1.6	▲ 8.6	▲ 1.5	▲ 3.1
23 消化器官用薬	47	44	47	43	45	46	▲ 6.0	4.9	▲ 7.3	4.2	1.4
232 消化性潰瘍用剤	59	55	58	51	52	52	▲ 7.8	5.0	▲ 10.7	2.0	▲ 0.7
239 その他の消化器官用薬	87	81	86	85	88	87	▲ 6.8	5.1	▲ 1.2	3.8	▲ 0.5
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	58	58	59	58	65	60	0.8	0.7	▲ 0.8	11.1	▲ 7.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	131	123	125	116	105	95	▲ 6.0	1.0	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 9.5
31 ビタミン剤	43	42	43	41	42	34	▲ 2.1	1.8	▲ 3.9	1.3	▲ 18.3
32 滋養強壮薬	96	90	89	84	84	86	▲ 5.6	▲ 1.6	▲ 6.2	0.9	1.8
325 蛋白アミノ酸製剤	475	451	445	417	413	408	▲ 5.1	▲ 1.3	▲ 6.3	▲ 1.0	▲ 1.3
33 血液・体液用薬	113	102	107	102	106	102	▲ 9.9	5.0	▲ 4.5	3.8	▲ 3.7
39 その他の代謝性医薬品	124	122	126	123	127	126	▲ 2.0	3.7	▲ 2.7	3.4	▲ 0.5
396 糖尿病用剤	101	99	103	100	103	104	▲ 2.1	4.4	▲ 2.6	3.3	0.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	377	370	391	380	393	401	▲ 1.9	5.6	▲ 2.8	3.5	2.0
42 腫瘍用薬	1,501	1,481	1,582	1,689	1,897	1,973	▲ 1.3	6.8	6.8	12.3	4.0
422 代謝拮抗剤	1,660	1,569	1,433	1,215	1,015	827	▲ 5.5	▲ 8.7	▲ 15.2	▲ 16.5	▲ 18.5
429 その他の腫瘍用薬	1,459	1,451	1,586	1,745	2,001	2,103	▲ 0.6	9.3	10.0	14.7	5.1
44 アレルギー用薬	104	89	82	68	64	58	▲ 14.7	▲ 7.3	▲ 18.0	▲ 4.8	▲ 10.5
52 漢方製剤	84	81	81	79	79	78	▲ 3.3	▲ 0.1	▲ 2.7	0.0	▲ 0.9
61 抗生物質製剤	149	134	130	113	107	102	▲ 10.4	▲ 2.8	▲ 13.1	▲ 5.3	▲ 5.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	162	145	138	123	116	120	▲ 10.4	▲ 4.4	▲ 11.0	▲ 5.6	3.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	125	105	99	81	74	58	▲ 16.1	▲ 5.9	▲ 17.6	▲ 8.8	▲ 22.1
62 化学療法剤	1,451	998	752	705	569	532	▲ 31.2	▲ 24.6	▲ 6.3	▲ 19.3	▲ 6.4
624 合成抗菌剤	375	317	306	254	242	211	▲ 15.4	▲ 3.5	▲ 16.9	▲ 4.9	▲ 12.7
625 抗ウイルス剤	5,052	3,482	2,388	2,299	1,794	1,701	▲ 31.1	▲ 31.4	▲ 3.8	▲ 22.0	▲ 5.2

注)表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が390円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が194円となっている。伸び率は、ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)が+59.7%で最も高く、抗生物質製剤が▲35.1%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内服薬 総数	924	927	1,076	1,079	1,142	1,288	0.4	16.0	0.3	5.9	12.7
11 中枢神経系用薬	101	107	120	121	145	194	6.2	12.2	0.7	20.1	33.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	17	17	19	18	19	21	2.7	6.5	▲1.2	2.5	9.7
114 解熱鎮痛消炎剤	13	14	16	18	24	36	11.2	8.0	13.3	38.8	48.1
116 抗パーキンソン剤	3	4	5	7	8	9	20.5	30.9	25.7	14.3	14.0
117 精神神経用剤	26	33	39	37	51	56	28.2	19.5	▲5.0	35.4	10.6
119 その他中枢神経系用薬	37	33	35	31	32	59	▲11.6	7.3	▲10.5	2.1	85.4
21 循環器官用薬	265	258	327	343	353	390	▲2.6	26.8	4.9	3.0	10.4
212 不整脈用剤	13	14	15	16	17	20	6.4	12.4	5.1	9.0	13.9
214 血圧降下剤	81	84	125	137	141	146	3.8	48.6	10.3	2.3	3.9
217 血管拡張剤	79	72	77	69	70	74	▲8.5	6.3	▲9.8	1.4	5.1
218 高脂血症用剤	74	68	87	96	97	116	▲9.2	29.3	9.9	1.4	18.7
22 呼吸器官用薬	19	22	23	24	26	21	10.5	5.1	7.6	5.6	▲17.1
23 消化器官用薬	160	156	160	152	153	165	▲2.4	2.6	▲4.9	1.0	7.9
232 消化性潰瘍用剤	112	104	106	97	95	98	▲6.9	1.7	▲8.8	▲1.3	3.3
239 その他の消化器官用薬	11	13	14	15	16	19	25.0	8.9	3.0	6.3	18.6
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	2	4	10	13	17	27	58.6	180.3	28.2	26.9	59.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	16	16	16	15	24	31	0.2	4.8	▲10.7	64.8	28.9
31 ビタミン剤	37	33	33	30	29	45	▲9.7	▲2.6	▲8.3	▲1.4	51.3
32 滋養強壮薬	4	4	5	5	5	6	9.3	9.0	6.8	6.0	7.6
325 蛋白アミノ酸製剤	2	2	2	2	2	2	0.5	7.7	▲2.4	4.1	5.4
33 血液・体液用薬	80	88	97	89	89	91	10.4	10.1	▲8.3	0.4	1.6
39 その他の代謝性医薬品	85	80	90	92	97	110	▲5.4	13.0	1.5	5.4	13.3
396 糖尿病用剤	33	26	29	28	28	32	▲21.4	12.4	▲2.0	0.5	13.8
399 他に分類されない代謝性医薬品	38	42	48	51	56	65	9.8	13.6	6.5	10.5	15.3
42 腫瘍用薬	33	31	39	40	45	48	▲5.3	23.0	2.4	13.9	5.7
422 代謝拮抗剤	1	1	5	8	12	13	0.8	682.5	63.7	39.8	11.7
429 その他の腫瘍用薬	32	31	33	30	31	32	▲5.2	8.8	▲10.8	5.4	2.5
44 アレルギー用薬	69	75	98	98	100	113	10.0	30.0	0.1	1.6	13.5
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	26	26	27	25	25	16	0.9	2.4	▲8.0	0.0	▲35.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	10	11	11	10	10	5	2.5	4.1	▲7.3	0.2	▲55.8
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	14	14	13	12	11	8	▲2.9	▲4.0	▲11.9	▲3.8	▲31.6
62 化学療法剤	23	21	25	25	25	22	▲8.9	17.1	1.6	0.5	▲14.1
624 合成抗菌剤	10	9	9	8	8	5	▲11.7	1.3	▲9.4	▲3.2	▲29.0
625 抗ウイルス剤	6	6	9	11	11	10	▲2.9	52.2	22.0	2.3	▲15.0

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の60.1%が最も高く、次いでアレルギー用薬の44.0%となっている。対前年度差は、ビタミン剤が+15.6%で最も高く、抗生物質製剤が▲6.9%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)						対前年度差(%)				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
内服薬 総数	15.2	16.7	19.2	20.5	20.8	21.9	1.5	2.5	1.2	0.3	1.1
11 中枢神経系用薬	10.4	11.5	12.3	12.9	15.2	19.7	1.1	0.8	0.6	2.4	4.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23.6	26.8	28.5	31.7	33.4	34.2	3.2	1.7	3.2	1.7	0.8
114 解熱鎮痛消炎剤	10.7	12.0	12.5	14.6	21.7	38.0	1.3	0.6	2.0	7.1	16.4
116 抗パーキンソン剤	4.1	5.0	6.4	8.9	9.7	10.1	0.8	1.4	2.5	0.8	0.4
117 精神神経用剤	8.1	10.8	12.3	12.5	17.0	17.2	2.7	1.5	0.2	4.5	0.2
119 その他中枢神経系用薬	12.5	11.8	11.9	10.8	10.6	20.0	▲0.7	0.2	▲1.2	▲0.2	9.4
21 循環器官用薬	19.7	21.4	28.0	35.0	35.9	38.2	1.7	6.6	7.0	0.9	2.3
212 不整脈用剤	20.4	25.2	29.4	41.3	46.3	52.0	4.8	4.2	11.8	5.1	5.7
214 血圧降下剤	13.3	15.9	25.7	36.6	39.0	38.8	2.5	9.9	10.9	2.4	▲0.3
217 血管拡張剤	49.9	55.2	59.9	65.1	68.6	71.7	5.3	4.7	5.2	3.5	3.1
218 高脂血症用剤	21.3	21.0	27.6	36.5	36.1	43.0	▲0.3	6.6	8.9	▲0.3	6.9
22 呼吸器官用薬	33.1	39.7	43.4	50.4	54.4	60.1	6.6	3.7	7.1	4.0	5.7
23 消化器官用薬	31.5	32.9	32.3	33.0	31.2	29.7	1.4	▲0.7	0.7	▲1.7	▲1.5
232 消化性潰瘍用剤	31.9	32.6	31.8	32.4	30.8	28.8	0.7	▲0.8	0.7	▲1.6	▲2.1
239 その他の消化器官用薬	14.8	20.0	20.7	21.2	21.1	22.3	5.2	0.7	0.5	▲0.1	1.2
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	3.1	4.8	12.9	16.0	17.1	25.3	1.7	8.1	3.1	1.1	8.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	9.4	9.8	10.0	9.4	16.1	19.8	0.4	0.2	▲0.6	6.7	3.8
31 ビタミン剤	32.4	29.7	28.0	25.9	24.3	39.9	▲2.7	▲1.8	▲2.0	▲1.6	15.6
32 滋養強壮薬	6.2	7.0	7.5	8.3	8.4	7.8	0.8	0.5	0.7	0.1	▲0.6
325 蛋白アミノ酸製剤	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	3.6	0.2	0.3	0.1	▲0.0	▲0.4
33 血液・体液用薬	18.4	22.4	23.4	22.3	21.2	20.6	4.0	1.0	▲1.1	▲1.1	▲0.6
39 その他の代謝性医薬品	10.9	10.4	11.1	11.2	10.9	10.8	▲0.5	0.6	0.1	▲0.3	▲0.1
396 糖尿病用剤	8.6	6.7	7.1	6.9	6.4	6.3	▲1.8	0.3	▲0.1	▲0.5	▲0.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	12.3	13.7	14.6	15.7	16.1	16.1	1.4	0.9	1.0	0.4	0.1
42 腫瘍用薬	9.6	8.9	10.0	9.3	8.9	7.8	▲0.7	1.1	▲0.7	▲0.4	▲1.1
422 代謝拮抗剤	1.2	1.4	12.1	24.1	39.7	49.0	0.1	10.7	12.0	15.6	9.3
429 その他の腫瘍用薬	11.4	10.3	9.9	7.7	6.6	5.5	▲1.0	▲0.4	▲2.2	▲1.1	▲1.1
44 アレルギー用薬	19.6	24.7	32.9	37.8	38.8	44.0	5.1	8.2	4.9	1.0	5.2
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	23.8	27.9	31.3	34.6	37.0	30.0	4.1	3.5	3.3	2.4	▲6.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	20.5	24.8	28.7	31.8	34.7	20.2	4.3	3.9	3.1	2.9	▲14.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	33.0	39.5	44.0	49.3	53.1	56.3	6.5	4.4	5.4	3.8	3.3
62 化学療法剤	4.0	5.4	8.3	9.1	11.1	10.4	1.4	3.0	0.7	2.0	▲0.7
624 合成抗菌剤	19.7	21.1	24.0	27.7	29.3	33.8	1.4	2.9	3.7	1.6	4.5
625 抗ウイルス剤	1.2	1.8	3.8	4.9	6.5	5.9	0.6	2.0	1.1	1.7	▲0.6

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い高知県では、技術料の割合が22.3%、薬剤料の割合が77.6%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が30.3%、薬剤料の割合が69.5%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が▲1.8%(最高:栃木県+3.6%、最低:山梨県▲3.8%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+3.4%(最高:栃木県+10.0%、最低:沖縄県+1.0%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

令和2年度

	総 額 (単位:億円)								処方箋1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	74,987	18,779	25.0	56,058	11,337	74.8	150	0.2	9,849	2,467	7,363	1,489	20
北海道	3,693	814	22.1	2,871	607	77.7	8	0.2	11,615	2,562	9,029	1,909	24
青 森	916	226	24.6	688	144	75.1	2	0.2	10,045	2,475	7,546	1,585	23
岩 手	839	204	24.3	634	146	75.5	1	0.2	10,438	2,538	7,883	1,821	17
宮 城	1,442	360	24.9	1,079	233	74.8	3	0.2	9,717	2,424	7,271	1,572	22
秋 田	775	181	23.4	592	126	76.4	2	0.2	10,913	2,550	8,339	1,780	25
山 形	694	179	25.7	514	114	74.0	2	0.3	9,664	2,487	7,151	1,593	26
福 島	1,159	282	24.4	875	190	75.5	2	0.1	10,300	2,509	7,776	1,688	15
茨 城	1,727	391	22.6	1,333	269	77.2	3	0.2	10,843	2,454	8,369	1,686	21
栃 木	1,058	262	24.8	792	175	74.9	3	0.3	9,623	2,388	7,209	1,590	26
群 馬	988	243	24.6	743	159	75.2	2	0.2	9,941	2,442	7,480	1,596	19
埼 玉	3,873	973	25.1	2,894	618	74.7	7	0.2	9,607	2,412	7,177	1,532	17
千 葉	3,415	822	24.1	2,586	539	75.7	8	0.2	10,111	2,433	7,656	1,597	22
東 京	8,559	2,138	25.0	6,405	1,198	74.8	16	0.2	9,659	2,413	7,229	1,352	18
神奈川	5,529	1,392	25.2	4,128	811	74.7	9	0.2	9,589	2,413	7,160	1,406	16
新 潟	1,328	341	25.7	984	221	74.1	3	0.2	9,466	2,430	7,018	1,578	18
富 山	560	132	23.5	427	86	76.3	1	0.2	11,004	2,586	8,391	1,690	27
石 川	644	151	23.4	491	95	76.3	1	0.2	11,403	2,672	8,706	1,682	26
福 井	368	83	22.5	284	56	77.2	1	0.2	11,206	2,527	8,652	1,697	27
山 梨	489	122	25.0	366	81	74.8	1	0.2	9,821	2,458	7,345	1,620	17
長 野	1,262	309	24.5	950	199	75.3	2	0.2	10,807	2,650	8,138	1,707	19
岐 阜	1,107	285	25.8	819	167	74.0	2	0.2	9,480	2,444	7,017	1,434	19
静 岡	2,076	553	26.7	1,518	326	73.2	4	0.2	9,194	2,451	6,726	1,443	17
愛 知	3,842	996	25.9	2,839	569	73.9	7	0.2	9,354	2,425	6,913	1,385	17
三 重	976	252	25.9	721	148	73.9	2	0.2	9,456	2,446	6,991	1,430	19
滋 賀	785	190	24.2	592	118	75.4	3	0.4	10,496	2,536	7,915	1,574	45
京 都	1,474	324	22.0	1,147	201	77.8	4	0.3	11,608	2,548	9,026	1,580	33
大 阪	5,313	1,331	25.0	3,972	741	74.8	10	0.2	10,064	2,521	7,524	1,404	19
兵 庫	3,363	856	25.5	2,501	472	74.4	6	0.2	9,676	2,463	7,197	1,358	17
奈 良	637	177	27.8	460	97	72.1	1	0.1	8,999	2,499	6,487	1,364	12
和歌山	540	130	24.1	408	76	75.6	2	0.3	10,379	2,500	7,846	1,465	33
鳥 取	350	88	25.1	261	53	74.7	1	0.2	10,407	2,617	7,769	1,565	21
島 根	463	125	26.9	337	73	72.8	1	0.2	9,905	2,666	7,215	1,569	24
岡 山	976	263	26.9	711	153	72.9	2	0.2	9,243	2,489	6,735	1,448	19
広 島	1,792	459	25.6	1,329	254	74.2	4	0.2	9,565	2,450	7,096	1,354	19
山 口	906	243	26.8	662	141	73.1	1	0.2	9,271	2,483	6,772	1,438	15
徳 島	423	104	24.5	319	58	75.3	1	0.2	10,466	2,561	7,885	1,443	20
香 川	641	153	23.8	485	88	75.7	3	0.4	10,441	2,488	7,908	1,437	44
愛 媛	794	189	23.8	603	114	75.9	3	0.3	10,551	2,512	8,006	1,511	34
高 知	499	111	22.3	387	74	77.6	1	0.1	11,781	2,628	9,136	1,745	16
福 岡	3,131	852	27.2	2,273	451	72.6	5	0.2	8,885	2,418	6,452	1,280	15
佐 賀	530	161	30.3	369	79	69.5	1	0.2	8,161	2,472	5,675	1,223	14
長 崎	915	242	26.5	671	140	73.3	2	0.2	9,583	2,536	7,027	1,467	19
熊 本	1,022	271	26.5	749	162	73.3	2	0.2	9,181	2,432	6,728	1,453	20
大 分	745	190	25.5	554	116	74.3	1	0.2	9,987	2,544	7,424	1,560	18
宮 崎	673	182	27.0	490	110	72.8	1	0.2	8,982	2,426	6,541	1,474	15
鹿 児 島	956	272	28.4	684	163	71.5	1	0.1	8,857	2,516	6,330	1,510	11
沖 縄	742	179	24.1	560	127	75.5	3	0.4	10,233	2,469	7,721	1,751	43

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総 額								処方箋1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料 料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料 料		
全 国	▲ 2.6	▲ 5.0	▲ 0.6	▲ 1.8	3.4	0.6	7.2	0.0	7.2	4.6	8.1	14.0	18.1
北海道	▲ 3.1	▲ 5.4	▲ 0.5	▲ 2.4	1.9	0.5	9.8	0.0	6.6	4.1	7.3	12.0	20.7
青森	▲ 4.0	▲ 5.9	▲ 0.5	▲ 3.4	2.6	0.5	2.2	0.0	5.7	3.6	6.3	13.0	12.5
岩手	▲ 1.9	▲ 3.3	▲ 0.3	▲ 1.5	2.9	0.3	▲ 4.5	▲ 0.0	5.5	4.0	5.9	10.6	2.7
宮城	▲ 3.2	▲ 5.8	▲ 0.7	▲ 2.3	2.5	0.7	8.5	0.0	6.6	3.7	7.5	12.8	19.5
秋田	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 0.1	▲ 3.3	2.7	0.1	▲ 0.7	0.0	3.8	3.4	3.9	10.4	6.7
山形	▲ 3.2	▲ 3.8	▲ 0.2	▲ 3.0	3.9	0.1	11.3	0.0	4.4	3.7	4.6	12.0	20.0
福島	▲ 3.7	▲ 5.9	▲ 0.6	▲ 2.9	3.5	0.6	0.9	0.0	5.9	3.5	6.7	13.8	11.0
茨城	▲ 2.5	▲ 5.0	▲ 0.6	▲ 1.8	4.7	0.6	4.9	0.0	6.8	4.1	7.6	14.8	15.0
栃木	2.1	▲ 2.6	▲ 1.2	3.6	10.0	1.1	73.3	0.1	9.0	4.0	10.5	17.4	84.9
群馬	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 1.5	3.6	0.6	1.6	0.0	6.4	3.9	7.2	12.7	10.5
埼玉	▲ 2.7	▲ 5.9	▲ 0.8	▲ 1.6	3.9	0.8	6.7	0.0	8.2	4.7	9.5	15.6	18.7
千葉	▲ 3.1	▲ 6.0	▲ 0.7	▲ 2.2	4.0	0.7	0.4	0.0	8.2	5.0	9.2	16.2	12.1
東京	▲ 4.6	▲ 7.8	▲ 0.9	▲ 3.5	1.5	0.8	6.6	0.0	9.5	5.8	10.7	16.4	22.3
神奈川	▲ 2.2	▲ 5.3	▲ 0.8	▲ 1.2	4.4	0.8	7.8	0.0	8.6	5.2	9.8	16.1	19.8
新潟	▲ 3.5	▲ 5.8	▲ 0.6	▲ 2.7	2.3	0.6	▲ 2.4	0.0	5.5	3.0	6.4	11.8	6.8
富山	0.3	▲ 2.6	▲ 0.7	1.2	3.3	0.7	6.4	0.0	8.4	5.3	9.3	11.6	14.9
石川	▲ 1.7	▲ 3.5	▲ 0.4	▲ 1.2	3.0	0.4	13.5	0.0	6.7	4.8	7.3	11.9	23.2
福井	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 0.2	▲ 1.2	3.7	0.3	▲ 7.9	▲ 0.0	5.3	4.1	5.6	10.8	▲ 1.5
山梨	▲ 3.6	▲ 3.1	0.1	▲ 3.8	6.2	▲ 0.1	6.4	0.0	5.0	5.6	4.8	15.6	15.9
長野	▲ 1.8	▲ 2.4	▲ 0.2	▲ 1.6	3.2	0.1	4.9	0.0	5.6	4.9	5.8	11.0	12.8
岐阜	▲ 3.5	▲ 5.7	▲ 0.6	▲ 2.8	3.6	0.6	13.5	0.0	6.7	4.3	7.5	14.5	25.5
静岡	▲ 2.8	▲ 4.0	▲ 0.3	▲ 2.4	4.1	0.3	6.8	0.0	5.5	4.2	5.9	13.0	15.9
愛知	▲ 2.8	▲ 5.3	▲ 0.7	▲ 1.9	3.6	0.7	5.1	0.0	6.7	4.0	7.7	13.8	15.4
三重	▲ 1.0	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 0.2	3.5	0.6	5.2	0.0	6.4	3.8	7.3	11.2	13.0
滋賀	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 0.8	0.3	3.2	0.8	8.6	0.0	9.2	5.7	10.3	13.5	19.5
京都	▲ 0.9	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 0.2	3.8	0.5	5.4	0.0	7.5	4.8	8.3	12.7	14.4
大阪	▲ 1.8	▲ 3.2	▲ 0.4	▲ 1.3	4.1	0.3	6.5	0.0	6.8	5.3	7.3	13.2	15.8
兵庫	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 0.5	▲ 2.1	2.9	0.5	6.0	0.0	6.7	4.6	7.5	13.0	16.4
奈良	▲ 1.3	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 0.4	3.5	0.6	1.1	0.0	6.8	4.4	7.7	11.9	9.3
和歌山	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 1.5	5.0	0.1	4.1	0.0	4.2	3.9	4.2	11.0	10.1
鳥取	▲ 1.4	▲ 2.8	▲ 0.3	▲ 1.0	3.5	0.3	6.0	0.0	7.3	5.8	7.8	12.6	15.4
島根	▲ 2.5	▲ 3.0	▲ 0.2	▲ 2.3	2.8	0.1	4.2	0.0	5.1	4.5	5.3	10.7	12.3
岡山	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 0.6	▲ 2.1	3.8	0.5	7.5	0.0	6.5	4.3	7.2	13.8	17.7
広島	▲ 2.8	▲ 5.2	▲ 0.6	▲ 1.9	3.7	0.6	4.4	0.0	6.7	4.1	7.7	13.8	14.6
山口	▲ 3.2	▲ 4.3	▲ 0.3	▲ 2.9	3.7	0.3	8.3	0.0	4.3	3.2	4.7	11.8	16.7
徳島	0.0	▲ 2.7	▲ 0.7	0.9	9.6	0.7	0.9	0.0	8.0	5.0	8.9	18.3	8.9
香川	▲ 2.3	▲ 4.1	▲ 0.5	▲ 1.7	4.2	0.5	▲ 1.2	0.0	6.5	4.5	7.2	13.6	7.7
愛媛	▲ 0.8	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 0.0	3.7	0.6	7.9	0.0	7.9	5.1	8.8	12.8	17.4
高知	▲ 1.2	▲ 2.9	▲ 0.4	▲ 0.7	5.6	0.4	8.4	0.0	7.5	5.6	8.0	14.9	17.9
福岡	▲ 2.4	▲ 5.5	▲ 0.9	▲ 1.2	3.8	0.9	8.2	0.0	7.9	4.5	9.3	14.8	19.6
佐賀	▲ 3.9	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 3.5	2.1	0.3	11.8	0.0	4.7	3.6	5.1	11.2	21.8
長崎	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 0.4	▲ 1.3	3.9	0.3	17.1	0.0	5.9	4.5	6.4	12.0	26.3
熊本	▲ 1.4	▲ 4.6	▲ 0.9	▲ 0.2	3.4	0.9	22.3	0.0	7.6	4.1	8.9	12.9	33.5
大分	▲ 2.9	▲ 4.6	▲ 0.5	▲ 2.4	3.8	0.4	36.3	0.1	6.3	4.5	6.9	13.7	49.4
宮崎	▲ 2.8	▲ 4.4	▲ 0.5	▲ 2.2	3.0	0.5	1.7	0.0	5.1	3.3	5.8	11.4	9.9
鹿児島	▲ 2.4	▲ 3.9	▲ 0.4	▲ 1.9	3.0	0.4	3.1	0.0	5.2	3.6	5.8	11.1	11.1
沖縄	▲ 3.3	▲ 8.5	▲ 1.4	▲ 1.5	1.0	1.3	16.2	0.1	10.6	4.6	12.6	15.5	32.9

注)構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が7,544円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.07、30.4日、81円となっていた。一方、佐賀県が4,579円と最も低く、3要素に分解すると、2.85、22.7日、71円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

令和2年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方箋1枚当たり薬剤料 (円)				処方箋1枚当たり薬剤料			
	処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	5,886	2.76	28.2	76	7.4	▲ 1.0	12.7	▲ 3.7
北海道	7,270	3.03	33.0	73	6.7	▲ 1.0	11.4	▲ 3.3
青 森	6,250	2.84	30.2	73	6.0	▲ 0.9	12.1	▲ 4.6
岩 手	6,479	2.85	32.4	70	5.5	▲ 0.4	10.3	▲ 4.0
宮 城	5,801	2.72	29.4	73	7.0	▲ 1.5	12.7	▲ 3.6
秋 田	6,834	2.97	31.8	72	3.4	▲ 0.9	8.2	▲ 3.6
山 形	5,844	2.77	29.1	73	4.1	▲ 0.0	9.4	▲ 4.8
福 島	6,385	2.91	30.5	72	6.3	▲ 1.2	12.1	▲ 4.1
茨 城	6,788	2.82	31.3	77	6.8	▲ 0.6	12.6	▲ 4.5
栃 木	5,882	2.81	28.4	74	9.8	▲ 0.2	14.0	▲ 3.4
群 馬	6,027	2.83	28.6	75	6.6	▲ 1.0	12.1	▲ 3.9
埼 玉	5,751	2.69	29.2	73	8.8	▲ 1.0	14.8	▲ 4.2
千 葉	6,152	2.63	31.0	76	8.6	▲ 1.3	14.9	▲ 4.3
東 京	5,725	2.60	27.8	79	9.9	▲ 2.0	16.2	▲ 3.5
神奈川	5,663	2.56	28.8	77	9.0	▲ 1.4	14.6	▲ 3.5
新 潟	5,626	2.56	31.3	70	5.9	▲ 1.7	11.8	▲ 3.6
富 山	6,859	2.81	31.6	77	8.7	▲ 0.1	11.3	▲ 2.3
石 川	7,111	2.97	30.5	79	6.4	▲ 0.7	10.7	▲ 3.2
福 井	7,196	2.93	30.5	80	5.6	▲ 1.2	11.2	▲ 3.9
山 梨	5,957	2.66	31.6	71	4.2	▲ 1.8	12.8	▲ 6.0
長 野	6,557	2.78	31.5	75	5.2	▲ 0.6	9.8	▲ 3.6
岐 阜	5,543	2.83	26.9	73	6.5	▲ 1.2	13.2	▲ 4.8
静 岡	5,336	2.63	28.2	72	5.4	▲ 1.3	11.7	▲ 4.4
愛 知	5,432	2.69	26.3	77	6.8	▲ 1.7	13.5	▲ 4.2
三 重	5,626	2.71	27.4	76	6.6	▲ 2.0	12.4	▲ 3.3
滋 賀	6,203	2.65	30.3	77	8.9	▲ 1.4	13.6	▲ 2.7
京 都	7,145	2.87	29.4	85	7.8	▲ 0.2	10.7	▲ 2.4
大 阪	5,969	2.88	25.9	80	6.5	▲ 0.9	11.8	▲ 3.8
兵 庫	5,621	2.67	26.8	78	6.9	▲ 1.2	12.2	▲ 3.5
奈 良	5,243	2.68	28.3	69	7.6	▲ 0.8	12.0	▲ 3.1
和歌山	6,308	2.88	28.1	78	3.9	▲ 0.5	8.6	▲ 3.8
鳥 取	6,388	2.86	27.5	81	7.1	0.3	9.8	▲ 2.8
島 根	5,875	2.97	27.4	72	4.5	▲ 0.4	9.6	▲ 4.2
岡 山	5,439	2.89	26.5	71	6.7	▲ 0.1	11.3	▲ 4.1
広 島	5,608	2.83	25.4	78	6.7	▲ 0.5	11.6	▲ 3.8
山 口	5,432	2.75	26.4	75	3.8	▲ 0.5	9.8	▲ 5.0
徳 島	6,330	2.96	26.4	81	8.2	▲ 0.3	11.2	▲ 2.3
香 川	6,315	2.78	27.2	84	6.2	▲ 0.4	11.2	▲ 4.1
愛 媛	6,364	2.71	28.7	82	8.2	▲ 0.8	11.6	▲ 2.3
高 知	7,544	3.07	30.4	81	7.7	▲ 0.5	10.3	▲ 1.9
福 岡	5,190	2.87	23.9	76	8.8	▲ 0.2	12.8	▲ 3.3
佐 賀	4,579	2.85	22.7	71	4.5	▲ 0.4	10.1	▲ 4.8
長 崎	5,616	3.00	26.1	72	6.1	▲ 0.1	10.1	▲ 3.6
熊 本	5,468	3.01	25.2	72	8.6	▲ 0.7	12.0	▲ 2.3
大 分	6,049	3.11	26.3	74	6.1	▲ 0.0	10.9	▲ 4.3
宮 崎	5,193	2.84	26.4	69	5.1	▲ 1.0	11.0	▲ 4.4
鹿 児 島	5,122	2.98	25.3	68	5.3	0.5	9.5	▲ 4.4
沖 縄	5,994	2.72	31.2	71	12.0	▲ 1.1	17.2	▲ 3.4

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和2年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の89.5%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の24.9%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは徳島県の78.4%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは京都府の18.5%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは徳島県の+4.1%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは山形県の+3.8%であった。一方、最も低かったのは数量ベース(新指標)、薬剤料ベースともに富山県であり、それぞれ+0.7%、+1.9%であった。

令和3年3月
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年同期差			
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	後発医薬品 調剤率
全 国	82.1	59.1	21.4	77.6	1.7	3.7	2.7	1.9
北海道	83.5	60.6	22.2	80.1	1.6	3.5	2.6	1.4
青 森	82.3	60.2	22.2	79.3	1.5	3.8	3.0	2.0
岩 手	86.7	62.8	24.4	81.6	1.1	3.6	3.1	2.0
宮 城	84.8	60.2	22.5	80.1	1.3	3.7	2.8	1.9
秋 田	83.3	60.3	22.6	80.8	1.8	4.1	3.2	2.5
山 形	85.7	62.6	23.8	81.2	1.5	4.3	3.8	2.3
福 島	83.5	60.7	23.1	81.8	1.9	4.1	3.2	2.1
茨 城	81.8	59.4	21.3	77.7	1.9	4.2	2.9	2.3
栃 木	84.2	61.3	23.5	80.5	2.5	4.1	3.4	2.3
群 馬	84.8	61.7	22.6	80.3	1.6	3.6	2.8	1.9
埼 玉	82.9	60.2	22.6	78.3	1.6	3.6	2.9	2.0
千 葉	82.5	59.6	22.0	77.6	1.6	3.6	3.0	2.0
東 京	78.4	54.9	19.8	72.5	1.8	3.6	2.5	2.0
神奈川	80.4	57.4	20.9	74.2	1.8	3.7	2.7	2.2
新 潟	84.2	61.1	23.8	80.2	1.6	3.7	3.0	1.6
富 山	84.1	60.8	21.1	79.8	0.7	3.3	1.9	1.4
石 川	83.0	58.9	20.5	77.6	1.2	3.3	2.6	1.5
福 井	84.1	60.9	21.0	79.0	1.0	3.3	2.9	1.1
山 梨	81.7	59.5	23.1	76.1	2.7	4.9	3.4	2.7
長 野	84.6	61.1	21.8	78.6	1.6	3.7	2.6	1.8
岐 阜	81.2	58.4	21.9	79.2	2.3	4.3	3.1	2.4
静 岡	83.5	60.8	22.8	79.2	1.8	3.9	3.0	2.5
愛 知	82.8	58.9	21.2	79.0	1.9	3.9	2.9	2.0
三 重	82.7	60.0	21.7	78.4	1.3	3.2	2.5	1.7
滋 賀	82.7	60.0	21.0	77.8	1.6	3.3	2.1	1.7
京 都	79.9	56.9	18.5	75.4	1.6	3.2	2.2	1.8
大 阪	79.8	57.4	19.6	75.7	1.7	3.5	2.4	1.7
兵 庫	81.3	58.5	20.0	76.2	1.7	3.3	2.6	1.9
奈 良	79.4	58.2	22.1	74.9	1.2	2.9	2.6	1.6
和歌山	80.4	57.7	19.7	76.2	1.9	3.8	2.7	2.4
鳥 取	85.1	61.8	21.1	78.0	1.7	3.7	2.7	1.8
島 根	85.8	62.8	23.0	80.1	1.3	3.6	2.9	1.7
岡 山	83.4	60.4	22.9	78.4	1.6	3.6	3.2	1.3
広 島	80.3	56.9	20.2	77.1	2.1	4.0	2.6	2.2
山 口	84.3	61.6	22.5	80.7	2.0	4.3	3.2	2.3
徳 島	78.4	57.2	19.7	76.9	4.1	5.6	2.9	3.6
香 川	80.0	57.0	19.2	75.7	1.7	3.5	2.6	1.4
愛 媛	83.1	60.4	20.3	78.5	1.7	3.7	2.9	2.0
高 知	79.2	58.0	20.0	76.7	2.1	4.1	2.6	1.9
福 岡	83.0	59.4	20.9	79.2	1.7	3.8	2.8	2.3
佐 賀	84.2	60.8	23.0	80.4	1.4	3.8	3.4	1.7
長 崎	83.4	59.9	21.9	80.0	1.4	3.6	2.6	2.0
熊 本	84.9	62.3	22.8	83.0	1.5	3.5	2.9	1.8
大 分	82.9	60.7	22.3	79.9	2.0	3.9	3.0	1.4
宮 崎	85.8	62.8	23.7	82.3	1.4	3.7	3.0	1.5
鹿 児 島	87.4	64.4	24.9	82.9	1.3	3.5	2.9	1.3
沖 縄	89.5	66.6	23.8	83.5	0.8	2.7	2.3	0.6

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆1,842億円であり、医科診療所が4兆2,896億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆2,815億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が7,321円であったのに対し、医科病院が18,977円と高く、中でも大学病院が35,540円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、整形外科の診療所を除き対前年度比で上昇した。特に大学病院の伸び率が大きく、+12.2%であった。

令和2年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、病院では82.6%、診療所では81.9%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の86.7%であり、最も低かったのは大学病院の75.2%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは眼科の+4.0%であり、最も小さかったのは耳鼻咽喉科の+0.8%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳（総額）

実数 対前年 （%）度	令和2年度																											
	医科										診療所							歯科										
	病院		200床未満		200床以上		診療所		小児科		外科		整形外科		皮膚科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		その他		病院		診療所	
実数	74,987	74,738	31,842	5,920	13,485	12,347	90	9,196	22,646	42,896	22,815	1,460	1,465	3,192	2,716	455	1,876	2,235	6,682	159	64	96						
対前年（%）度	▲ 2.6	▲ 2.7	▲ 0.5	4.4	▲ 0.0	▲ 3.2	▲ 13.2	▲ 3.8	0.8	▲ 4.2	▲ 3.4	▲ 19.0	▲ 11.1	▲ 4.7	4.5	8.9	▲ 0.8	▲ 16.8	▲ 0.8	▲ 0.1	▲ 7.0	5.3						
処方箋枚数	▲ 9.2	▲ 9.3	▲ 8.4	▲ 6.9	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 15.9	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 9.5	▲ 9.2	▲ 30.4	▲ 14.1	▲ 3.2	1.1	▲ 2.6	▲ 5.8	▲ 24.1	▲ 1.0	▲ 4.7	▲ 9.3	▲ 2.5						

注1) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の受付回数(を合計したものである)。
 注2) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

表14-2 後発医薬品割合

実数 対前年 （%）度	令和3年3月 (単位:%)																										
	医科										診療所							歯科									
	病院		200床未満		200床以上		診療所		小児科		外科		整形外科		皮膚科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		その他		病院		診療所
実数	82.1	82.6	75.2	83.3	83.7	81.4	83.5	82.0	81.9	82.8	81.1	82.9	80.0	78.7	86.7	81.4	84.7	79.4	88.1	90.8	84.9						
対前年（%）度	2.7	1.7	1.6	1.4	1.5	2.2	1.7	1.5	1.8	1.7	2.1	1.9	2.5	1.2	1.6	4.0	0.8	2.2	1.7	1.2	1.8						
数量ベース(新指標)	2.7	2.7	1.8	1.4	3.1	4.2	3.8	1.2	3.7	3.4	1.6	4.6	12.7	1.0	1.0	0.1	1.8	3.8	2.7	5.1	▲ 1.6						

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注2) 新指標は、「(後発医薬品の数量)/(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)」で算出している。

表14-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

調剤医療費	医療												歯科									
	病院						診療所						診療所									
	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所					
9,949	18,977	35,540	13,459	10,757	12,352	24,261	7,321	9,081	7,926	5,660	4,942	6,635	4,277	4,754	8,693	3,208	2,102					
2,467	2,473	2,718	2,712	2,740	2,595	2,742	2,699	2,715	2,554	2,031	2,035	2,098	1,477	2,137	2,667	1,625	1,674					
25.0	14.3	7.4	11.8	20.4	24.1	22.2	11.1	32.8	32.2	35.9	41.2	31.6	34.5	45.0	30.7	68.1	79.7					
1,976	1,984	2,230	2,213	2,263	2,110	2,270	2,197	2,247	2,081	1,544	1,518	1,592	979	1,617	2,174	1,133	1,140					
727	727	681	691	662	702	665	740	750	744	733	699	785	734	741	741	743	782					
1,064	1,070	1,303	1,262	1,285	1,217	1,285	1,273	1,297	1,174	775	573	768	240	803	1,240	386	357					
185	187	270	264	288	231	284	259	200	163	35	247	39	5	73	193	5	11					
490	489	511	499	477	485	471	501	468	473	487	517	506	499	520	492	526	508					
7,363	7,423	16,198	20,229	10,687	8,145	9,582	21,476	4,910	5,367	3,627	2,906	4,537	2,800	2,616	6,023	777	1,582					
74.8	74.9	85.4	92.3	87.9	79.4	77.6	88.5	67.1	67.7	64.1	58.8	68.4	65.5	55.0	69.3	31.9	49.3					
5,894	5,943	13,316	16,775	9,006	6,721	8,014	17,546	3,831	4,594	2,617	1,231	4,110	172	1,883	5,464	619	1,272					
43	43	69	77	60	39	48	86	35	39	14	3	22	1	10	92	34	44					
521	525	1,711	2,113	714	490	600	2,597	186	112	434	99	38	3	7	63	11	35					
905	912	1,102	1,265	907	896	919	1,248	857	622	563	1,574	367	2,623	716	405	113	231					
1,488	1,499	2,547	3,076	2,884	2,243	2,160	2,856	1,199	1,396	1,006	605	1,215	587	843	1,375	247	420					
20	20	61	85	33	16	28	87	8	5	2	0	1	0	0	3	0	1					
0.2	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
7.2	7.3	8.6	12.2	9.3	5.8	3.2	10.1	5.9	6.3	16.4	3.5	11.8	5.3	9.6	0.2	5.0	2.5					
4.6	4.6	4.0	3.3	4.2	4.0	4.2	3.8	4.8	3.9	3.7	3.9	4.5	5.9	4.1	2.8	10.4	7.3					
▲0.6	▲0.6	▲0.6	▲0.6	▲0.6	▲0.4	▲0.0	▲0.2	▲0.4	▲0.3	▲0.1	1.8	0.2	▲2.2	▲2.4	0.8	3.4	2.3					
5.1	5.1	4.9	4.1	5.0	5.0	5.1	4.7	5.1	6.0	6.5	4.1	3.6	4.1	5.8	2.6	12.7	9.6					
7.6	7.6	9.4	10.2	10.0	9.0	6.8	9.1	9.6	7.2	7.4	7.7	6.5	8.6	7.5	6.2	7.7	8.3					
3.2	3.1	1.9	1.1	1.9	2.0	0.7	2.0	1.7	3.5	4.4	10.8	1.4	0.0	4.5	▲0.6	22.6	11.2					
6.5	6.5	9.1	7.0	7.9	10.1	9.3	10.3	8.0	11.6	▲3.3	8.8	2.9	1.2	▲23.6	▲5.3	▲20.1	▲9.0					
2.8	2.8	0.1	0.3	0.7	▲0.5	1.2	0.1	0.1	3.6	2.3	7.9	3.2	4.1	5.2	6.1	5.0	3.5					
8.1	8.2	9.4	13.0	10.0	6.3	3.2	5.3	10.9	6.4	6.7	26.0	3.2	▲4.2	4.9	14.5	▲0.9	▲2.0					
0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	0.0	0.2	0.7	0.3	4.1	▲0.1	▲1.8	▲0.2	2.2	▲0.2	▲2.4	▲2.3					
7.4	7.5	8.8	11.9	9.6	5.9	3.0	4.7	10.3	5.6	6.5	21.2	3.0	▲5.8	▲2.5	17.4	▲3.8	▲6.2					
4.2	4.2	4.9	1.8	5.4	5.3	4.3	5.1	4.9	3.6	3.2	▲0.5	1.1	▲3.5	▲3.8	▲3.7	▲7.5	▲10.9					
23.0	23.0	21.7	22.0	21.2	20.1	13.4	20.7	21.9	23.9	24.5	54.4	22.6	6.2	79.3	3.8	26.0	152.2					
5.5	5.5	1.0	1.8	0.3	1.1	▲0.5	1.7	0.5	7.2	3.0	31.0	2.0	▲3.8	4.8	▲0.3	5.6	29.3					
13.9	14.0	12.3	12.5	11.2	13.1	14.4	13.6	11.6	14.6	13.7	27.9	12.0	24.6	6.7	13.7	7.0	17.1					
18.1	18.1	17.5	15.2	19.7	14.8	7.4	15.5	18.1	17.4	17.3	67.7	26.4	▲1.8	3.6	19.8	7.2	224.5					
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「屯服」「内服」「内湯」「湯煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかつたものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注5) 構成割合は対前年度差を示している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆6,848億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の12,199円であり、伸び率が最も大きかったのは健保組合の+13.4%、最も小さかったのは後期高齢者の+1.9%であった。

令和2年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、最も高かったのは公費の90.5%、最も低かったのは国保組合の80.4%であった。伸び幅が最も大きかったのは後期高齢者の+1.9%、最も小さかったのは公費の+0.7%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和2年度

		総数										公費
		医療保険適用計									後期高 齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村 国保	国保組 合			
	協会一 般	共済組 合	健保組 合									
実 数	調剤医療費(億円)	74,987	71,611	26,059	14,298	2,687	9,028	18,704	17,673	1,031	26,848	3,376
	処方箋枚数(万枚)	76,135	73,367	31,602	16,771	3,483	11,299	17,930	16,796	1,134	23,836	2,768
対 前 年 度 比 (%)	調剤医療費	▲ 2.6	▲ 2.7	▲ 2.6	▲ 1.6	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 2.7	▲ 2.6	▲ 3.4	▲ 2.7	▲ 2.5
	処方箋枚数	▲ 9.2	▲ 9.4	▲ 13.1	▲ 11.4	▲ 14.2	▲ 15.3	▲ 8.6	▲ 8.3	▲ 12.4	▲ 4.5	▲ 5.0

注) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

表15-2 後発医薬品割合

令和3年3月
(単位:%)

		総数										公費
		医療保険適用計									後期高 齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村 国保	国保組 合			
	協会一 般	共済組 合	健保組 合									
実 数	数量ベース(新指標)	82.1	81.7	82.7	83.1	82.1	82.3	82.1	82.2	80.4	80.5	90.5
	薬剤料ベース	21.4	21.2	20.2	20.5	19.3	20.0	20.5	20.6	19.0	22.8	25.4
同 対 期 前 年	数量ベース(新指標)	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.9	0.7
	薬剤料ベース	2.7	2.8	1.8	1.9	1.5	1.7	2.3	2.3	1.9	4.1	2.8

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和2年度

	総数											
	医療保険適用計											公費
	被用者保険計						国民健康保険計			後期高齢者		
		協会一般		共済組合	健保組合		市町村国保		国保組合			
金額		割合	金額				割合					
実数 (円)	調剤医療費	9,849	9,761	8,246	8,525	7,715	7,990	10,432	10,522	9,096	11,264	12,199
	技術料	2,467	2,448	2,246	2,270	2,202	2,224	2,428	2,438	2,269	2,733	2,948
	構成割合(%)	25.0	25.1	27.2	26.6	28.5	27.8	23.3	23.2	24.9	24.3	24.2
	調剤技術料	1,976	1,958	1,728	1,755	1,678	1,702	1,934	1,945	1,769	2,282	2,455
	調剤基本料	727	726	728	723	729	736	713	711	730	733	760
	調剤料	1,064	1,053	882	914	824	852	1,084	1,095	926	1,257	1,346
	加算料	185	179	118	118	125	114	137	138	113	292	349
	薬学管理料	490	490	518	514	523	522	494	493	501	451	493
	薬剤料	7,363	7,293	5,984	6,237	5,500	5,753	7,979	8,059	6,807	8,512	9,222
	構成割合(%)	74.8	74.7	72.6	73.2	71.3	72.0	76.5	76.6	74.8	75.6	75.6
	内服薬	5,894	5,831	4,458	4,724	3,915	4,227	6,526	6,615	5,198	7,130	7,564
	屯服薬他	43	41	47	48	48	44	45	45	48	30	92
	注射薬	521	519	629	648	644	596	581	575	666	326	571
	外用薬	905	902	851	818	893	886	828	824	896	1,025	994
	(再掲)後発医薬品	1,488	1,460	1,142	1,209	1,008	1,082	1,558	1,580	1,234	1,809	2,229
	特定保険医療材料料	20	19	16	18	13	14	25	25	19	20	29
	構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
対前年度比 (%)	調剤医療費	7.2	7.4	12.1	11.0	13.1	13.4	6.5	6.2	10.2	1.9	2.6
	技術料	4.6	4.6	5.1	4.9	5.0	5.3	4.2	4.2	4.9	3.4	3.4
	構成割合(%)	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 2.2	▲ 2.1	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 1.3	0.4	0.2
	調剤技術料	5.1	5.1	5.4	5.3	5.1	5.6	4.7	4.6	5.2	3.7	3.4
	調剤基本料	7.6	7.6	6.7	6.7	6.5	6.8	7.8	7.9	7.1	8.6	9.2
	調剤料	3.2	3.3	5.7	5.3	5.7	6.0	2.5	2.3	4.6	▲ 0.1	▲ 0.9
	加算料	6.5	6.1	▲ 3.6	▲ 2.7	▲ 5.5	▲ 4.4	6.4	6.9	▲ 2.0	9.0	9.4
	薬学管理料	2.8	2.8	4.1	3.8	4.5	4.4	2.6	2.5	4.0	1.8	3.6
	薬剤料	8.1	8.4	15.0	13.4	16.7	16.8	7.2	6.9	12.1	1.4	2.4
	構成割合(%)	0.6	0.6	1.8	1.5	2.2	2.1	0.5	0.4	1.2	▲ 0.4	▲ 0.2
	内服薬	7.4	7.7	13.8	12.3	15.2	15.4	6.6	6.3	10.9	1.1	1.7
	屯服薬他	4.2	4.1	5.8	6.0	7.0	5.0	4.6	4.4	6.9	2.7	2.8
	注射薬	23.0	23.1	31.6	28.5	32.4	36.4	19.8	19.4	26.7	12.8	18.4
	外用薬	5.5	5.7	11.3	9.3	14.3	13.2	4.0	3.6	9.5	▲ 0.3	▲ 0.4
	(再掲)後発医薬品	13.9	14.3	16.4	15.4	17.1	17.3	11.3	11.0	15.2	12.0	6.0
	特定保険医療材料料	18.1	18.5	25.6	22.6	31.4	28.7	14.5	14.2	17.6	13.3	9.8
	構成割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 構成割合は対前年度差を示している。

16. 薬効分類別後発医薬品割合(数量ベース、新指標)

後発医薬品割合(数量ベース、新指標)の算出対象となる医薬品(後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品)の構成割合①をみると、循環器官用薬が24.4%と最も大きく、次いで消化器官用薬が18.0%を占めていた。また、これらの薬効分類における令和2年度末時点の後発医薬品割合は、それぞれ85.4%、90.1%であった。

表16 薬効分類別後発医薬品割合(新指標)

(単位:%)

	令和2年度												構成割合①(%)	構成割合②(%)	
	4月~3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月
総数	81.4	80.7	80.7	80.8	80.4	80.9	81.3	81.3	81.7	81.9	82.0	82.1	82.1	100.0	100.0
11 中枢神経系用薬	74.0	72.4	72.7	73.2	72.5	73.5	74.0	74.6	74.9	75.1	74.5	75.0	75.3	15.4	13.7
111 催眠鎮静剤、抗不安剤	70.5	69.4	69.8	69.9	70.2	70.5	70.7	70.9	71.0	71.0	71.2	70.7	70.7	3.7	2.7
113 抗てんかん剤	61.7	59.9	60.9	60.6	61.1	61.5	61.8	62.0	62.3	62.3	62.8	63.1	62.7	1.3	1.4
114 解熱鎮痛消炎剤	84.7	84.4	84.4	85.0	81.9	83.5	84.2	84.8	85.1	85.2	85.8	85.8	86.0	4.4	3.4
116 抗パーキンソン剤	69.9	67.5	68.8	68.8	68.8	69.9	70.0	70.2	70.7	70.5	71.1	71.6	71.4	0.8	0.7
117 精神神経用剤	69.6	67.8	68.3	68.5	68.9	69.2	69.5	69.7	70.1	70.4	70.7	70.8	70.9	4.1	3.6
119 その他中枢神経系用薬	75.6	80.1	80.4	82.0	67.6	74.1	77.1	78.4	79.5	80.2	70.4	74.6	76.6	1.0	1.7
12 末梢神経系用薬	81.1	79.6	80.1	80.3	80.7	81.0	81.2	81.4	81.6	81.6	81.9	82.0	82.0	0.8	0.7
124 鎮痙剤	82.2	80.7	81.2	81.5	81.8	82.0	82.2	82.5	82.6	82.6	82.9	83.0	83.0	0.7	0.5
13 感覚器官用薬	69.0	68.2	68.0	68.1	68.0	68.5	68.8	69.1	69.4	69.3	69.8	70.5	70.6	1.5	1.5
131 眼科用剤	69.9	67.6	69.0	69.7	69.2	70.0	69.7	69.9	70.0	70.0	71.2	71.2	71.2	0.6	0.8
133 鎮暈剤	68.4	68.5	67.2	67.0	67.1	67.4	68.1	68.5	68.9	68.8	69.4	69.6	69.8	0.9	0.6
21 循環器官用薬	84.4	83.2	83.5	83.7	83.6	84.1	84.2	84.5	84.8	84.9	85.2	85.3	85.4	24.4	17.5
212 不整脈用剤	78.4	76.7	77.1	77.4	77.6	78.1	78.2	78.6	78.8	79.1	79.5	79.6	79.7	1.7	1.1
213 利尿剤	92.3	91.6	91.7	91.9	91.9	92.2	92.4	92.2	92.5	92.7	93.0	92.9	93.1	1.4	1.1
214 血圧降下剤	83.9	82.5	82.9	83.1	83.3	83.7	83.8	84.1	84.4	84.5	84.8	84.9	85.0	7.0	5.3
217 血管拡張剤	84.7	83.8	83.9	84.0	84.2	84.4	84.5	84.7	84.9	85.0	85.3	85.4	85.6	6.9	4.3
218 高脂血症用剤	85.4	84.6	84.9	85.2	84.0	84.8	85.1	85.5	85.8	85.9	86.3	86.4	86.4	6.0	4.2
219 その他の循環器官用薬	81.5	79.6	80.2	80.3	80.8	81.1	81.3	81.8	82.2	82.6	83.0	82.9	82.8	1.3	1.3
22 呼吸器官用薬	83.8	83.0	82.8	83.1	83.0	83.6	83.6	83.6	84.1	84.2	84.8	84.6	84.6	3.8	2.9
223 去痰剤	85.7	84.9	85.0	85.5	85.1	85.6	85.7	85.6	85.9	85.9	86.4	86.3	86.2	2.8	1.8
225 気管支拡張剤	64.9	63.8	63.1	63.4	63.5	64.3	64.7	64.7	65.3	65.6	66.4	66.6	66.5	0.5	0.4
23 消化器官用薬	89.7	89.1	89.2	89.2	89.4	89.5	89.6	89.7	89.9	89.9	90.1	90.1	90.1	18.0	15.3
231 止しゃ剤、整腸剤	98.5	98.4	98.4	98.3	98.4	98.4	98.4	98.5	98.5	98.5	98.6	98.6	98.6	0.9	2.1
232 消化性潰瘍用剤	83.6	82.7	83.0	83.0	83.2	83.4	83.6	83.7	83.9	83.9	84.3	84.3	84.4	7.5	5.8
234 制酸剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4.5	2.8
235 下剤、浣腸剤	96.3	96.1	96.1	96.1	96.2	96.2	96.3	96.3	96.3	96.4	96.4	96.4	96.4	1.4	1.4
236 利胆剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.3	1.0
239 その他の消化器官用薬	74.4	73.2	73.1	73.3	73.7	74.0	74.1	74.9	75.2	75.3	75.3	74.8	74.8	2.2	1.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	92.4	96.0	96.1	96.4	88.7	90.9	90.8	91.5	91.9	92.0	92.0	92.8	92.9	0.6	1.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	83.5	83.3	83.7	84.3	80.6	82.0	82.7	83.4	83.9	84.1	84.6	84.8	85.0	1.6	1.7
259 その他の泌尿生殖器官および肛門用薬	82.5	82.3	82.8	83.4	79.3	80.8	81.6	82.3	82.9	83.1	83.7	83.9	84.0	1.4	1.4
26 外用薬	56.4	54.1	54.9	55.6	56.0	56.3	56.7	56.9	57.0	56.9	57.3	57.5	57.6	8.3	6.3
264 鎮痛、鎮痙、収斂、消炎剤	57.3	54.9	55.7	56.4	56.7	57.0	57.5	57.7	57.9	58.0	58.3	58.4	58.6	7.5	5.4
31 ビタミン剤	93.3	96.0	96.2	96.2	96.3	96.7	96.8	90.0	90.5	90.8	91.0	91.2	91.3	4.1	3.8
311 ビタミンAおよびD剤	77.9	80.8	81.2	81.3	81.6	89.2	90.6	71.6	73.2	74.1	74.9	75.5	75.8	1.1	0.9
313 ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.5	1.8
32 滋養強壮薬	87.2	86.2	86.5	86.7	86.9	87.1	87.2	87.4	87.5	87.6	87.7	87.7	87.9	0.7	4.1
322 無機質製剤	88.0	86.8	87.0	87.4	87.6	87.8	88.0	88.2	88.2	88.4	88.6	88.6	88.8	0.5	0.6
325 蛋白アミノ酸製剤	50.0	50.6	49.4	49.4	50.5	49.8	49.6	50.1	50.1	49.3	50.3	50.0	50.2	0.1	3.2
33 血液・体液用薬	92.9	92.1	92.3	92.2	92.0	92.3	92.3	92.9	93.5	93.8	93.7	93.8	93.7	8.1	7.9
333 血液凝固阻止剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	3.1	4.5
339 その他の血液・体液用薬	87.1	86.2	86.5	86.6	86.8	87.1	87.2	87.3	87.5	87.5	87.6	87.7	87.6	4.4	2.9
39 その他の代謝性医薬品	77.0	76.7	77.0	77.2	76.0	76.7	76.9	76.5	76.9	77.1	77.3	77.8	77.8	5.8	8.1
394 痛風治療剤	85.1	84.4	84.5	84.6	84.9	85.1	85.1	85.4	85.4	85.4	85.6	85.7	85.6	1.0	1.4
396 糖尿病用剤	82.2	81.9	82.2	82.6	80.2	81.1	81.5	82.0	82.3	82.6	82.9	83.4	83.7	3.0	4.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	69.9	69.9	70.3	70.1	69.9	70.2	70.8	68.6	69.2	69.5	69.7	70.2	70.2	1.5	1.5
42 腫瘍用薬	79.2	76.8	77.7	78.0	78.3	79.0	79.0	79.6	80.0	80.0	80.4	80.8	80.5	0.3	0.3
422 代謝拮抗剤	80.4	76.9	77.5	78.2	79.1	79.8	80.3	81.1	81.8	81.8	82.7	82.6	82.7	0.1	0.1
429 その他の腫瘍用薬	78.8	76.8	77.8	77.9	78.0	78.7	78.6	79.0	79.5	79.5	79.6	80.2	79.8	0.3	0.2
44 アレルギー用薬	78.8	79.0	79.1	79.5	76.3	77.4	78.3	78.0	78.4	78.6	79.4	80.2	79.6	5.5	4.1
449 その他アレルギー用薬	78.8	79.1	79.2	79.7	76.3	77.5	78.3	78.0	78.4	78.6	79.4	80.2	79.5	5.2	3.9
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	8.5
61 抗生物質製剤	76.8	75.7	75.9	76.0	76.0	76.5	76.7	76.5	77.2	77.1	78.2	78.1	77.8	0.8	0.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	73.3	71.7	71.7	72.2	72.2	72.7	73.1	73.2	73.9	73.8	74.8	74.8	74.8	0.3	0.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	79.4	78.4	78.9	79.2	78.9	79.5	79.5	78.9	79.6	79.5	80.6	80.4	79.9	0.3	0.3
62 化学療法剤	69.2	67.0	67.7	68.3	68.8	69.5	69.3	69.9	70.0	69.8	70.3	70.4	70.0	0.4	0.4
624 合成抗菌剤	75.3	73.3	74.3	75.0	75.0	75.7	75.7	75.4	75.7	75.2	76.5	76.3	76.1	0.1	0.1
625 抗ウイルス剤	72.4	70.4	71.3	71.4	72.1	72.6	72.4	72.9	73.1	72.5	73.3	73.6	73.2	0.1	0.1

注1) 構成割合①は、新指標の分母である「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」について、各薬効分類の令和2年度中の医薬品数量が占める割合を示している。したがって、「後発医薬品のない先発医薬品」や「その他の品目」は含まれていない。
 注2) 構成割合②は、「先発医薬品」、「後発医薬品」及び「その他の品目」全てを含んだ全医薬品における、令和2年度中の構成割合(数量ベース)を示している。
 注3) 「その他の品目」は、厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」において、「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」が☆、★又は空欄となっている医薬品を示す。
 注4) 表示していない項目(薬効)があるので、構成割合を足しあげても総数と一致しない。
 注5) 全ての剤形を含んでいる。

(参考) 分類別構成割合(数量ベース)(令和2年度)

	構成割合
後発医薬品のない先発医薬品	16.8
後発医薬品のある先発医薬品	11.6
後発医薬品	50.6
その他の品目	19.8
計	100.0

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

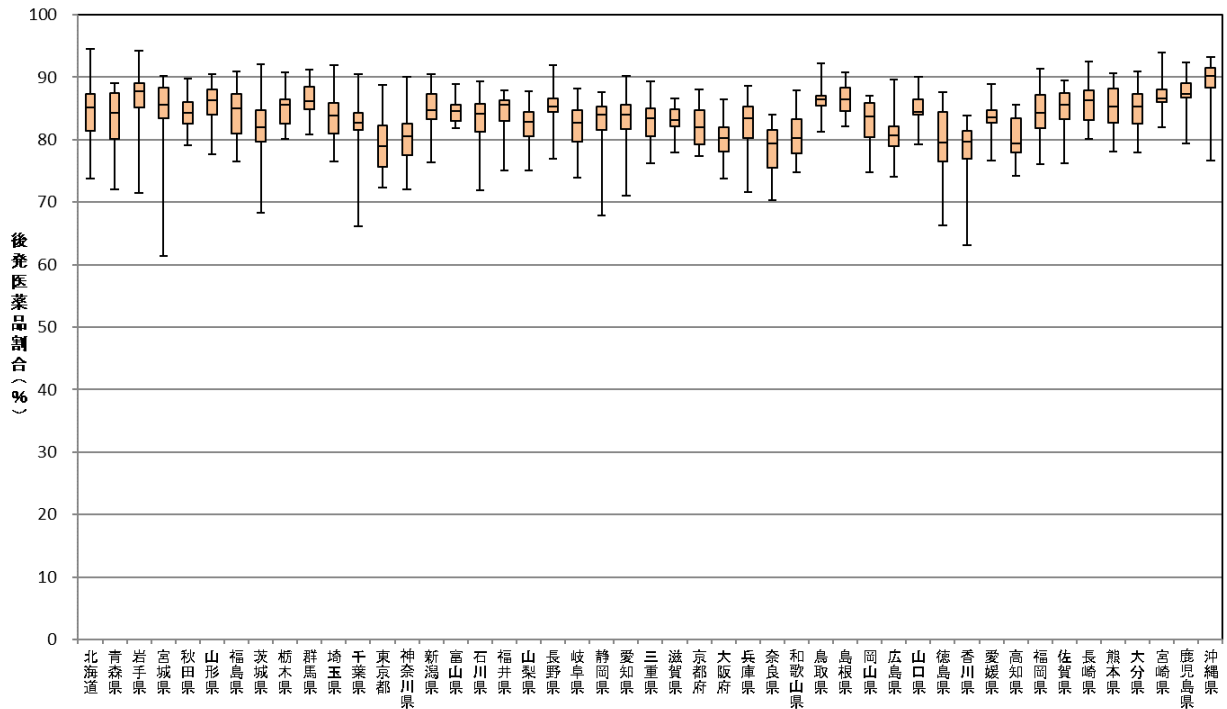
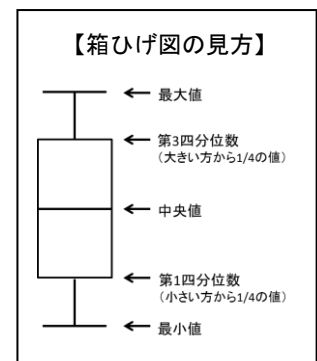


図1 各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

- (注1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和3年3月調剤分)
- (注2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が3軒以下の地域は除外している。
- (注3) 長方形の下側の辺は第1四分位数、上側の辺は第3四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/20/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17 市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）（上位 20 位）

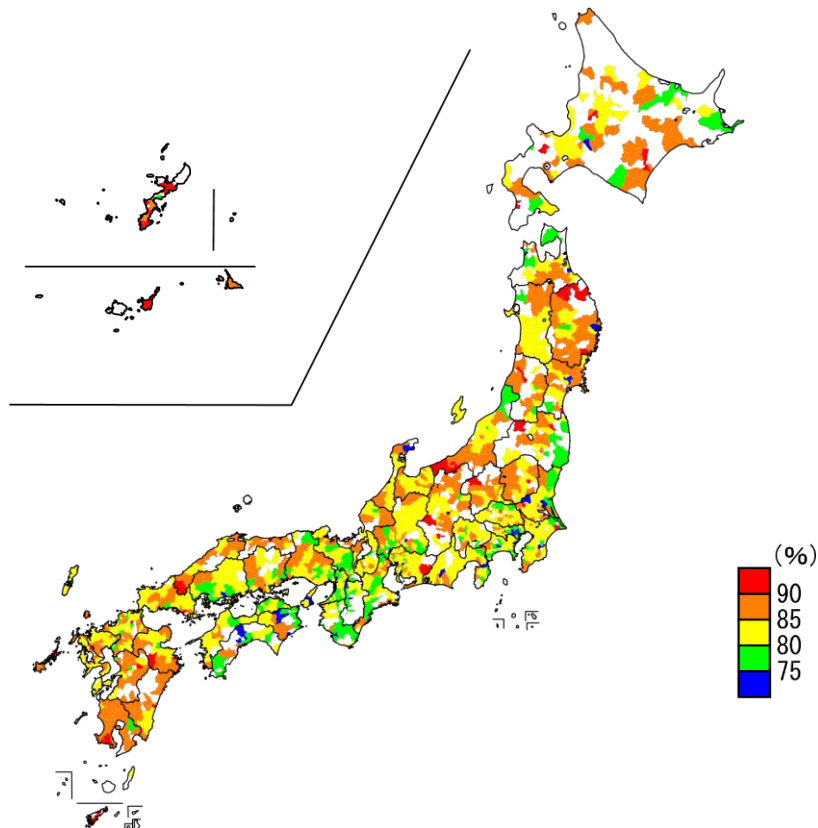
順位	都道府県	市町村名	割合 (%)	順位	都道府県	市町村名	割合 (%)
1	北海道	アカヒラシ 赤平市	94.5	11	茨城	エウキゲンヤチヨマチ 結城郡八千代町	92.1
2	岩手	クハゲンカルマイマチ 九戸郡軽米町	94.3	12	埼玉	ヒキゲンナカワマチ 比企郡滑川町	92.0
3	宮崎	ユウケンシントミチヨウ 児湯郡新富町	94.0	13	岩手	ニノゲンイチハマチ 二戸郡一戸町	92.0
4	沖縄	シマジリケンヨナバルチヨウ 島尻郡与那原町	93.3	14	長野	キソケンキソマチ 木曽郡木曽町	91.9
5	岩手	クダシ 久慈市	92.5	15	沖縄	ナカガミケンナカガスケン 中頭郡中城村	91.8
6	沖縄	イトマンシ 糸満市	92.5	16	沖縄	イシカキシ 石垣市	91.7
7	長崎	ミナミマツウケンシンカミコトウチヨウ 南松浦郡新上五島町	92.5	17	沖縄	ナンジヨウシ 南城市	91.5
8	沖縄	シマジリケンヤエセチヨウ 島尻郡八重瀬町	92.4	18	長崎	ヒカシノキケンハサミチヨウ 東彼杵郡波佐見町	91.4
9	鹿児島	オオシマケンセウチチヨウ 大島郡瀬戸内町	92.3	19	長野	シモイナケンカモリマチ 下伊那郡高森町	91.3
10	鳥取	トウバケンユリハマチヨウ 東伯郡湯梨浜町	92.2	20	福岡	タカワケンフチマチ 田川郡福智町	91.3

(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 3 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2 市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 3 年 3 月調剤分)

(注 2) 集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。